

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
集中	3年次	1単位	選択
担当教員			
加藤 義夫			
科目ナンバリング：3L343C			
添付ファイル			

授業形態	演習		
科目区分	専門講義科目		
授業のテーマ	現代美術の歴史を学び、美術館を見学し、現代アートの作品理解を深め、キュレーションを研究します。		
授業の達成目標	現代アートを理解し展覧会・アートプロジェクト・アートイベントなどの構想力、企画力を養い、プレゼンテーションやディスカッションにより、コミュニケーション能力を高めます。		
授業科目の概要	現代美術史を学ぶとともに、美術館の展覧会を見学し、展覧会のキュレーションを学びます。展覧会・アートプロジェクト・アートイベントなどの企画書を制作しレポート課題とします。		
授業計画	第1回	<p>授業内容</p> <p>シラバスを参照して、授業の進め方と成績評価の説明をします。</p>	
	第2回	<p>授業時間外の学習：シラバスを予習し、認識すること。</p> <p>授業内容</p> <p>近代美術と現代美術の違い、分岐点について考察します。</p>	
	第3回	<p>授業時間外の学習：近代とは何かについて予習し、モダニズムとは何かを復習すること。</p> <p>授業内容</p> <p>20世紀美術の源泉となった芸術家を検証します。Part 1 ピカソ(キュビズム)、マチス(フォービズム)</p>	
	第4回	<p>授業時間外の学習：ピカソとマチスの芸術を予習し、授業で観たDVDについて感想文を書くこと。</p> <p>授業内容</p> <p>20世紀美術の源泉となった芸術家を検証します。Part 2 カンディンスキー/モンドリアン(抽象芸術)</p>	
	第5回	<p>授業時間外の学習：抽象芸術の起源を知り、抽象的な作品を制作する画家や彫刻家を調べてみる。</p> <p>授業内容</p> <p>20世紀美術の源泉となった芸術家を検証します。Part 3 デュシャン(ダダイズム)ダリ/マグリット(シュールレアリスム)</p>	
	第6回	<p>授業時間外の学習：ダダイズムとシュールレアリスムについて調べてみる。</p> <p>授業内容</p> <p>マルセル・デュシャンの美術理論-レディ・メイドという思考を考えます。「なぜこれがアートなのか」をディスカッションします。</p>	
	第7回	<p>授業時間外の学習：現代美術のターニングポイントであるデュシャンから、学ぶべきことあるいは否定すべきことを整理する。</p> <p>授業内容</p> <p>アンディ・ウォーホルの美術理論-オリジナルとコピーについてディスカッションします。</p>	
	第8回	<p>授業時間外の学習：ポップアートについて調査、分析すること。</p> <p>授業内容</p> <p>ヨゼフ・ボイスの美術理論-社会彫刻と芸術概念の拡張という思考を考えます。</p>	
	第9回	<p>授業時間外の学習：社会とアートの関係性を整理してまとめてみる。</p> <p>授業内容</p> <p>クリスト&ジャンヌ=クロードの美術理論-アートプロジェクトという思考を学びます。</p>	
	第10回	<p>授業時間外の学習：その他のアートプロジェクトを調べて、プロジェクトの立案に役立てる。</p> <p>授業内容</p> <p>現代美術のキーワードについて学びます。</p>	
	第11回	<p>授業時間外の学習：さまざまな外来語が飛び交う現代美術の世界、キーワードを調べて作品理解の手かがりとする。</p> <p>授業内容</p> <p>国内外の国際芸術祭を紹介します。ビエンナーレ、トリエンナーレについて。</p>	
	第12回	<p>授業時間外の学習：世界各地で増殖していく国際芸術祭の意義と効能について調べてみる。</p> <p>授業内容</p>	

	<p>美術館やギャラリーのシステムを紹介します。</p> <p>第13回 授業時間外の学習：どんな美術館やギャラリーがあるかを調べてみよう。 授業内容 あいちトリエンナーレ2019を開催している愛知県立美術館や名古屋市美術館に行き、特別企画展や常設展を鑑賞し、現代アートを体感します。</p> <p>第14回 授業時間外の学習：美術館を体験し作品と出会い対話することを学び、展覧会の切り口や狙いについて考えます。 授業内容 美術館見学の感想、意見などを学生たちでプレゼンテーションし、ディスカッションします。</p> <p>第15回 授業時間外の学習：近未来の美術館について考えてみましょう。 授業内容 展覧会・アートプロジェクト・アートイベントなどの企画書作成方法を紹介します。 授業時間外の学習：企画書作成に関して予習します。</p>
テキスト	特に教科書は指定しません。適宜プリントを配布します。
参考書・参考資料等	適宜授業時にて紹介します。
履修上の注意	授業に出席し、居眠りや私語をしないこと。
成績評価の方法・基準	授業内課題のレポートと発表30% 現代美術に関する興味と姿勢10% 授業への参加度20% 課題レポート提出40%
課題に対するフィードバックの方法	授業内課題の感想文、コメントなど模範的なものを、翌回の授業時間に紹介します。

講義科目名称： 美術史実習（西洋）

授業コード： L163

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	3年次	1単位	選択
担当教員			
奥村 綾乃			
科目ナンバリング：3L341S			
添付ファイル			

授業形態	講義・演習		
科目区分	専門講義科目		
授業のテーマ	美術史を学び、それをもとに豊田市美術館の所蔵品を用いた展覧会を企画立案する		
授業の達成目標	展覧会の企画立案ができるようになること		
授業科目の概要	美術史の学習、展覧会企画、図録、展示プラン、広報物等の作成		
授業計画	第1回	授業内容 ガイダンス、豊田市美術館とコレクションについて	
	第2回	授業内容 美術史概説	
	第3回	授業内容 企画の立て方 ①テーマ設定、構成	
	第4回	授業内容 企画の立て方 ②作品・資料の選択、展示プラン	
	第5回	授業内容 豊田市美術館見学	
	第6回	授業時間外の学習：事後レポート作成 授業内容 企画立案、作品調査	
	第7回	授業時間外の学習：企画作成に必要な資料を探しておく 授業内容 企画書の作成	
	第8回	授業内容 企画書の発表	
	第9回	授業時間外の学習：発表準備 授業内容 企画展の立て方 ③広報、普及事業、イベント	
	第10回	授業内容 広報、普及事業、イベントの立案	
	第11回	授業内容 広報、普及事業、イベントの発表	
	第12回	授業時間外の学習：発表準備 授業内容 制作	
	第13回	授業内容 制作	
	第14回	授業内容 最終発表	
	第15回	授業時間外の学習：発表準備 授業内容 講評	
テキスト	なし		
参考書・参考資料等	豊田市美術館コレクションカタログ、その他授業中に指示		
履修上の注意	普段から積極的に展覧会を観に行くこと。		
成績評価の方法・基準	平常点30%、途中発表30%、制作物40%		

課題に対する
フィードバックの
方法

講評

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	3年次	1単位	選択
担当教員			
山口 由香			
科目ナンバリング：3L342S			
添付ファイル			

授業形態	演習
科目区分	専門講義科目
授業のテーマ	日本美術・中国美術への理解と、展覧会企画立案に向けての演習
授業の達成目標	(1) 日本・中国美術の歴史を通して「吉祥モチーフ」の様相を理解できるようになる (2) くずし字（変体仮名）の読解ができるようになる (3) 講義で学んだことを踏まえ、展覧会企画を立案することができるようになる
授業科目の概要	(1) 日本・中国美術に見られる「吉祥モチーフ」を用いた作品について、その歴史を講義により学ぶ (2) 興味のある「吉祥モチーフ」を選び、そのモチーフが含まれる作品を選んで作品の具体例を調査する (3) 各自が調査した作品への知識を活かし、展覧会を企画する (4) 調査発表時、発表者以外は批評を行う (5) 授業中にくずし字の読解演習を重ね、史資料を読解できるようになる
授業計画	<p>第1回 ガイダンス 授業の進め方と学外見学について説明する。</p> <p>第2回 学外見学 京都府の美術館・博物館に赴き、展覧会を見学する。 ※4月以降発表される美術館・博物館の年度計画によっては、行き先や時期が変更になる可能性あり</p> <p>第3回 学外見学のレポート発表＋くずし字入門 学外見学で見た作品について1点を選び、発表する。 くずし字の読み方について説明、文字の判読を進める</p> <p>第4回 吉祥モチーフの歴史＋くずし字読解 吉祥モチーフの歴史を中国美術史の流れに沿って辿る。 史資料を用いたくずし字の読解を進める。</p> <p>第5回 吉祥モチーフの歴史＋くずし字読解 吉祥モチーフの歴史を中国美術史の流れに沿って辿る。 史資料を用いたくずし字の読解を進める。</p> <p>第6回 吉祥モチーフの歴史＋くずし字読解 吉祥モチーフの歴史を中国美術史の流れに沿って辿る。 史資料を用いたくずし字の読解を進める。</p> <p>第7回 吉祥モチーフの歴史＋くずし字読解 吉祥モチーフの歴史を中国美術史の流れに沿って辿る。 史資料を用いたくずし字の読解を進める。</p> <p>第8回 調査発表＋くずし字読解 各自が選んだ吉祥モチーフについて、作品の具体例を用いて発表を行う。 史資料を用いたくずし字の読解を進める。</p> <p>第9回 調査発表＋くずし字読解 各自が選んだ吉祥モチーフについて、作品の具体例を用いて発表を行う。 史資料を用いたくずし字の読解を進める。</p> <p>第10回 調査発表＋くずし字読解 各自が選んだ吉祥モチーフについて、作品の具体例を用いて発表を行う。 史資料を用いたくずし字の読解を進める。</p> <p>第11回 展覧会を作る＋くずし字読解 展覧会企画について、必要な要素を学ぶ。 史資料を用いたくずし字の読解を進める。</p> <p>第12回 展覧会を作る＋くずし字読解 展覧会企画について、必要な要素を学ぶ。 史資料を用いたくずし字の読解を進める。</p> <p>第13回 展覧会企画 調査した吉祥モチーフや作品の知識を用いて、グループで展覧会を企画する。</p> <p>第14回 展覧会企画 調査した吉祥モチーフや作品の知識を用いて、グループで展覧会を企画する。</p> <p>第15回 展示企画の発表＋くずし字読解 企画した展覧会の発表を行う。 最終試験に向けてくずし字の読解を行う。</p>
テキスト	くずし字一覧表を教員で用意する。 『字典かな一出典明記』（空閒影印叢刊行会編）の購入を勧めるが、必須にはしません。

参考書・参考資料等	林進『日本近世絵画の図像学—趣向と深意』（八木書店） 『日本美術全集』（小学館） 山下裕二ほか『日本美術史』（美術出版社）ほか
履修上の注意	(1) 欠席する場合、原則として前日までに連絡すること ※交通状況などやむを得ない場合は相談してください。 (2) 遅刻する場合、授業開始前に連絡すること
成績評価の方法・基準	(1) 出席＋各レポート＋他の受講生による講評合計＋グループワークで50% (2) 授業中のくずし字テスト（複数回）＋最終試験で50% (3) 上記の合計を100点満点に換算して評価する
課題に対するフィードバックの方法	(1) 調査発表に対してその場でコメントを行う、また他の受講生による採点も実施し、その結果をまとめて返却する (2) くずし字のテストは、100点満点に換算して採点したものを逐次返却する

講義科目名称： 教育実習 I (事前・事後指導を含む)

授業コード： L166

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	4年次	1単位	必修
担当教員			
大橋 基博、金澤 秀晃			
科目ナンバリング：4L615S			
添付ファイル			

授業形態	講義
科目区分	資格関連科目
授業のテーマ	教育実習への準備
授業の達成目標	中学校、高等学校での円滑な教育実習ができるように事前に獲得すべき事柄を身につける
授業科目の概要	教育実習の目的・意義、実習の具体的内容を学ぶ
授業計画	<p>第1回 授業内容 教育実習の目的と意義</p> <p>第2回 授業時間外の学習：ノートの整理および配布物の学習 授業内容 教育実習の概要</p> <p>第3回 授業時間外の学習：ノートの整理および配布物の学習 授業内容 教育実習の心得</p> <p>第4回 授業時間外の学習：ノートの整理および配布物の学習 授業内容 教材研究と授業構想に基づく指導案づくり</p> <p>第5回 授業時間外の学習：ノートの整理および配布物の学習 授業内容 教育実習記録、教育実習報告書の書き方</p> <p>第6回 授業時間外の学習：学習指導案を作成する。 授業内容 美術および道徳の授業の進め方について</p> <p>第7回 授業時間外の学習：学習指導案を作成する。 授業内容 教育実習報告会</p> <p>第8回 授業時間外の学習：自分の実習を振り返る。 授業内容 事後対応について</p> <p>第9回 授業時間外の学習：実習校への礼状等を作成する。 授業内容 指導案作成講座</p> <p>第10回 授業内容 指導案作成講座</p>
テキスト	使用しない
参考書・参考資料等	授業時に配布する。
履修上の注意	この授業では、教育実習に参加する際の具体的かつ必要最低限のことを学習するので、遅刻・欠席は厳禁である。受講態度によっては、教育実習を中止する。開講日時は変更する場合がありますので掲示に注意。
成績評価の方法・基準	平常点(5割)、提出物(5割)
課題に対するフィードバックの方法	授業アンケートのコメントで回答する。

講義科目名称： 教育実習Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ

授業コード： L167 L168 L169 L170

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
集中(随時)	4年次	各1単位	必修
担当教員			
大橋 基博、金澤 秀晃			
科目ナンバリング：4L616C			
添付ファイル			

授業形態	演習
科目区分	資格関連科目
授業のテーマ	教育実習
授業の達成目標	実習校での教育実習を円滑に行うこと
授業科目の概要	実際の教育現場に教育実習生としておもむき、子どもの現状、教師の責務を目のあたりにし、教師としての力量を形成するよう指導を受ける。
授業計画	第1回 授業内容 実習校の指示により行う 授業時間外の学習：実習校の指示により行う
テキスト	なし
参考書・参考資料等	なし
履修上の注意	遅刻・欠席厳禁。実習態度によっては、実習中止。中学校免許取得希望者は原則として「教育実習Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ」すべて必修。高校免許取得希望者は「教育実習Ⅱ・Ⅲ」必修。履修条件として「教育実習Ⅰ」の履修が必要。
成績評価の方法・基準	実習校からの評価（60%）、教育実習報告書、実習記録、指導案（40%）などを総合して評価する。
課題に対するフィードバックの方法	後期の教職実践演習の時間に行う。

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	3年次	2単位	必修
担当教員			
大橋 基博			
科目ナンバリング：3L604S			
添付ファイル			

授業形態	講義
科目区分	資格関連科目
授業のテーマ	現代日本の教育と教育行政
授業の達成目標	戦後教育(行政)改革の原点を理解し、今日の教育と教育行政の問題を考えることができるようになること。
授業科目の概要	戦後教育改革の経過を概説し、戦後日本の教育理念、学校制度、教育行政等の特徴をまとめる。これに続き、今日の教育制度改革の概要と問題点等を検討していく。
授業計画	<p>第1回 授業内容 ガイダンス</p> <p>第2回 授業時間外の学習：ノートの整理、配付資料の学習 授業内容 現代日本の教育制度の原点(1)</p> <p>第3回 授業時間外の学習：ノートの整理、配付資料の学習 授業内容 現代日本の教育制度の原点(2)</p> <p>第4回 授業時間外の学習：ノートの整理、配付資料の学習 授業内容 現代日本の教育制度の原点(3)</p> <p>第5回 授業時間外の学習：ノートの整理、配付資料の学習 授業内容 日本国憲法と教育</p> <p>第6回 授業時間外の学習：ノートの整理、配付資料の学習 授業内容 主要な教育改革立法について</p> <p>第7回 授業時間外の学習：ノートの整理、配付資料の学習 授業内容 1947年教育基本法の内容とその意義(1)</p> <p>第8回 授業時間外の学習：ノートの整理、配付資料の学習 授業内容 1947年教育基本法の内容とその意義(2)</p> <p>第9回 授業時間外の学習：ノートの整理、配付資料の学習 授業内容 2006年教育基本法の内容とその意義</p> <p>第10回 授業時間外の学習：ノートの整理、配付資料の学習 授業内容 学校制度の歴史と類型(1)</p> <p>第11回 授業時間外の学習：ノートの整理、配付資料の学習 授業内容 学校制度の歴史と類型(2)</p> <p>第12回 授業時間外の学習：ノートの整理、配付資料の学習 授業内容 教育法の体系について</p> <p>第13回 授業時間外の学習：ノートの整理、配付資料の学習 授業内容 今日の教育改革論について 授業時間外の学習：ノートの整理、配付資料の学習</p>

	<p>第14回 授業内容 今日の教育改革論について(2)</p> <p>第15回 授業時間外の学習：ノートの整理、配付資料の学習 授業内容 子どもの権利をめぐる国際条約について 授業時間外の学習：ノートの整理、配付資料の学習</p>
テキスト	使用しない
参考書・参考資料等	『テキスト教育と教育行政』（勁草書房）、『教育実践と教職員』（大学教育出版）
履修上の注意	5回欠席（遅刻も含む）すると失格。
成績評価の方法・基準	筆記試験を実施する。ノート、プリントの持ち込み可。平常点（20%）、小テストの点数（10%）、筆記試験（70%）を総合して評価を出す。
課題に対するフィードバックの方法	授業アンケートのコメントで回答する。

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	3年次	2単位	必修
担当教員			
衣笠 健作			
科目ナンバリング：3L614S			
添付ファイル			

授業形態	講義
科目区分	資格関連科目
授業のテーマ	教育相談のスキルがますます重要になっていることを学び、児童生徒・保護者の心を理解するための基本的な知識や傾聴のスキルを習得する。また心を理解した上でどのように支援していくかを考える力をみにつける
授業の達成目標	教育相談のスキルがますます重要になっていることを学び、児童生徒・保護者の心を理解するための基本的な知識や傾聴のスキルを習得する。また心を理解した上でどのように支援していくかを考える力をみにつける
授業科目の概要	不登校・いじめ・非行などの問題行動が多様化、複雑化、重複化してきている教育現場において、教育相談が生徒指導の中心的な役割を担い、重要性が強調されている。児童生徒の心と体の発達の状況を適切に理解し、サインに気づき、よりよい、また個人の心理的特質をとらえた支援計画をたてるために、必要な心理学の基礎的な知識（カウンセリング技法、理論、発達など）と、チーム連携の大切さ、動き方について具体的・実践的な知識をみにつけていく。
授業計画	<p>第1回 授業内容 オリエンテーション・教育相談の必要性 - 今の教育現場でおきていることを含めてー</p> <p>授業時間外の学習：配布資料をもとに復習</p> <p>第2回 授業内容 教育相談とは① - 教育相談・生徒指導・学校臨床・カウンセリング・心理療法の相違や実際・聴くということー</p> <p>授業時間外の学習：配布資料をもとに復習</p> <p>第3回 授業内容 教育相談とは② - 教育相談・生徒指導・学校臨床・カウンセリング・心理療法の相違や実際・聴くということー</p> <p>授業時間外の学習：配布資料をもとに復習</p> <p>第4回 授業内容 エンカウンター - 自己理解と他者理解ー</p> <p>授業時間外の学習：配布資料をもとに復習</p> <p>第5回 授業内容 心の構造① - フロイト・ロジャーズ・ユング・行動療法 -</p> <p>授業時間外の学習：配布資料をもとに復習</p> <p>第6回 授業内容 心の構造② - パーソナリティ・特性論・類型論ー</p> <p>授業時間外の学習：配布資料をもとに復習</p> <p>第7回 授業内容 子供の成長と発達① - エリクソンの発達段階・ピアジェの認知発達理論ー</p> <p>授業時間外の学習：配布資料をもとに復習</p> <p>第8回 授業内容 子供の成長と発達② - 児童期・思春期・青年期とはー</p> <p>授業時間外の学習：配布資料をもとに復習</p> <p>第9回 授業内容 子供の成長と発達③ - 子供の病理ー</p> <p>授業時間外の学習：配布資料をもとに復習</p> <p>第10回 授業内容 不登校・いじめ・非行・発達障害① - 基礎知識ー</p> <p>授業時間外の学習：配布資料をもとに復習</p> <p>第11回 授業内容 不登校・いじめ・非行・発達障害② - 危機介入・緊急支援・支援計画 -</p> <p>授業時間外の学習：配布資料をもとに復習</p> <p>第12回 授業内容 不登校・いじめ・非行・発達障害③ - 実際と対応・支援ー</p>

	<p>第13回 授業時間外の学習：配布資料をもとに復習 授業内容 ロールプレイ① - 教育相談体験 -</p> <p>第14回 授業時間外の学習：配布資料をもとに復習 授業内容 ロールプレイ② - 教育相談体験を振り返って -</p> <p>第15回 授業時間外の学習：配布資料をもとに復習 授業内容 芸術療法 - 描画からみる発達段階・芸術を利用した支援や効果 - 定期試験</p> <p>授業時間外の学習：配布資料をもとに復習</p>
テキスト	資料配布
参考書・参考資料等	ロールプレイで学ぶ教育相談ワークブック、教育相談の理論と実際、子供の発達障害と支援のしかたがわかる本 など
履修上の注意	ロールプレイ・ディスカッションなど、実際にコミュニケーションをとりながらの講義もあります。積極的に参加してください。
成績評価の方法・基準	筆記試験と授業における態度（ロールプレイ・ディスカッションへの積極的参加）
課題に対するフィードバックの方法	筆記試験と授業においてディスカッションを行い、最新の情報・知識を提供しながら、それぞれの考え方を深めあっていく。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	2年次	2単位	必修
担当教員			
大橋 基博			
科目ナンバリング：2L611S			
添付ファイル			

授業形態	講義
科目区分	資格関連科目
授業のテーマ	授業を成立させる理論と実践
授業の達成目標	教育課程の変遷を理解し、今日求められている授業についての理解を深める
授業科目の概要	教育実践能力の向上をめざし、学習指導要領が目指そうとしている人間像、学力観、教育方法観を検討し、さらに、具体的な学級指導の方法を学ぶ。
授業計画	<p>第1回 授業内容 ガイダンスー授業の目標・計画（シラバス）の説明</p> <p>第2回 授業時間外の学習：ノートの整理および配布物の学習 授業内容 教科としての美術---専門教育ではない普通教科としての美術の位置を考える</p> <p>第3回 授業時間外の学習：ノートの整理および配布物の学習 授業内容 教育課程について1---教育課程とは何か、教育課程編成の仕組み、教育課程の編成原理</p> <p>第4回 授業時間外の学習：ノートの整理および配布物の学習 授業内容 教育課程について2</p> <p>第5回 授業時間外の学習：ノートの整理および配布物の学習 授業内容 戦後における学習指導要領の展開過程(1)---戦後教育改革と1947年版学習指導要領</p> <p>第6回 授業時間外の学習：ノートの整理および配布物の学習 授業内容 戦後における学習指導要領の展開過程(2)---学習指導要領の改訂経過とその特徴</p> <p>第7回 授業時間外の学習：ノートの整理および配布物の学習 授業内容 戦後における学習指導要領の展開過程(3)</p> <p>第8回 授業時間外の学習：ノートの整理および配布物の学習 授業内容 2008・9年版 学習指導要領の特徴(1)</p> <p>第9回 授業時間外の学習：ノートの整理および配布物の学習 授業内容 2008・9年版 学習指導要領の特徴(2)</p> <p>第10回 授業時間外の学習：ノートの整理および配布物の学習 授業内容 2017年版学習指導要領の特徴(1)</p> <p>第11回 授業時間外の学習：ノートの整理および配布物の学習 授業内容 2017年版学習指導要領の特徴(2)</p> <p>第12回 授業時間外の学習：ノートの整理および配布物の学習 授業内容 教育評価を考える---指導要録と新学力観</p> <p>第13回 授業時間外の学習：ノートの整理および配布物の学習 授業内容 美術科の学習指導案について---その類型と作成について 授業時間外の学習：ノートの整理および配布物の学習</p>

	<p>第14回 授業内容 情報機器の活用</p> <p>第15回 授業時間外の学習：ノートの整理および配布物の学習 授業内容 学力問題 授業時間外の学習：ノートの整理および配布物の学習</p>
テキスト	中学校学習指導要領（2017年改訂）
参考書・参考資料等	授業時に指示する。
履修上の注意	5回欠席（遅刻も含む）すると欠多＝失格となる。欠席者はその都度レポートを提出する。
成績評価の方法・基準	平常点（20%） 小テスト（20%） レポート（60%）
課題に対するフィードバックの方法	授業アンケートのコメントで回答する。

講義科目名称： 教職デザイン

授業コード： L175

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
集中	2年次	1単位	必修
担当教員			
はまだ のりこ			
科目ナンバリング：2L623C			
添付ファイル			

授業形態	演習		
科目区分	資格関連科目		
授業のテーマ	社会におけるデザインの役割の考察と実習		
授業の達成目標	実制作を通して視覚伝達デザインを機能させることを学ぶ		
授業科目の概要	実制作ではデザイン表現の基本であるコンセプトの立案とその視覚化、それを社会に伝える展開としてアプリケーション及び広告制作に取り組む		
授業計画	第1回	授業内容 デザインの概要と社会における役割について	
	第2回	授業時間外の学習：日常生活におけるデザインの役割について考える 授業内容 デザイン表現の基本①色と形で伝える	
	第3回	授業時間外の学習：日常生活におけるデザインの役割について考える 授業内容 デザイン表現の基本②コンセプト設定	
	第4回	授業時間外の学習：日常生活におけるデザインの役割について考える 授業内容 デザイン表現の基本③コンセプトのシンボル化（シンボルマーク制作導入）	
	第5回	授業時間外の学習：シンボルマーク資料収集・調査 授業内容 デザイン表現の基本③コンセプトのシンボル化（シンボルマーク制作）	
	第6回	授業時間外の学習：シンボルマーク資料収集・調査 授業内容 デザイン表現の基本③コンセプトのシンボル化（シンボルマーク制作）	
	第7回	授業時間外の学習：シンボルマーク資料収集・調査 授業内容 デザイン表現の基本④コンセプトのシンボル化（ロゴタイプ制作導入）	
	第8回	授業時間外の学習：ロゴタイプ資料収集・調査 授業内容 デザイン表現の基本④コンセプトのシンボル化（ロゴタイプ制作）	
	第9回	授業時間外の学習：ロゴタイプ資料収集・調査 授業内容 デザイン表現の基本④プレゼンテーション	
	第10回	授業時間外の学習：アイテム資料収集・調査 授業内容 デザインの展開①シンボルマークを用いたアプリケーション制作	
	第11回	授業時間外の学習：アイテム資料収集・調査 授業内容 デザインの展開①シンボルマークを用いたアプリケーション制作	
	第12回	授業時間外の学習：アイテム資料収集・調査 授業内容 デザインの展開②コンセプトに基づく広告制作	
	第13回	授業時間外の学習：フライヤー資料収集・調査 授業内容 デザインの展開②コンセプトに基づく広告制作 授業時間外の学習：フライヤー資料収集・調査	

	<p>第14回 授業内容 デザインの展開②コンセプトに基づく広告制作</p> <p>第15回 授業時間外の学習：フライヤー資料収集・調査 授業内容 プレゼンテーション</p>
テキスト	必要な資料を随時配布
参考書・参考資料等	必要な資料を随時配布
履修上の注意	デザイン制作の基礎用具を持参（折り紙〈色数の多いもの〉、筆記用具、定規、コンパス、カッター、はさみ、のり、色鉛筆、カラーサインペンなど）
成績評価の方法・基準	平常点 20% 授業態度 20% 作品評価 60%
課題に対するフィードバックの方法	特になし

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
集中	2年次	1単位	必修
担当教員			
山田 昌弘			
科目ナンバリング：2L621C			
添付ファイル			

授業形態	演習		
科目区分	資格関連科目		
授業のテーマ	絵画制作全般についての思考を深める		
授業の達成目標	基礎的技術や素材及び表現の多様性を学ぶ		
授業科目の概要	平面的作品を制作する		
授業計画	第1回	授業内容 描写「人体」 鉛筆・木炭によるデッサン	
	第2回	授業時間外の学習：類例作品の研究 授業内容 描写「人体」 鉛筆・木炭によるデッサン	
	第3回	授業時間外の学習：類例作品の研究 授業内容 描写「人体」 鉛筆・木炭によるデッサン	
	第4回	授業時間外の学習：類例作品の研究 授業内容 描写「人体」 鉛筆・木炭によるデッサン	
	第5回	授業時間外の学習：類例作品の研究 授業内容 絵画「静物構成」 水彩・アクリル・油彩による絵画	
	第6回	授業時間外の学習：類例作品の研究 授業内容 絵画「静物構成」 水彩・アクリル・油彩による絵画	
	第7回	授業時間外の学習：類例作品の研究 授業内容 絵画「静物構成」 水彩・アクリル・油彩による絵画	
	第8回	授業時間外の学習：類例作品の研究 授業内容 絵画「静物構成」 水彩・アクリル・油彩による絵画	
	第9回	授業時間外の学習：類例作品の研究 授業内容 絵画からの展開「風景・空間」 水彩・アクリル・油彩、平面・定形からの展開、異素材との混用などによる表現	
	第10回	授業時間外の学習：類例作品の研究 授業内容 絵画からの展開「風景・空間」 水彩・アクリル・油彩、平面・定形からの展開、異素材との混用などによる表現	
	第11回	授業時間外の学習：類例作品の研究 授業内容 絵画からの展開「風景・空間」 水彩・アクリル・油彩、平面・定形からの展開、異素材との混用などによる表現	
	第12回	授業時間外の学習：類例作品の研究 授業内容 絵画からの展開「風景・空間」 水彩・アクリル・油彩、平面・定形からの展開、異素材との混用などによる表現	
	第13回	授業時間外の学習：類例作品の研究 授業内容	

	<p>描写「人体」 コンテ・パステルによるクロッキー</p> <p>授業時間外の学習：類例作品の研究</p> <p>授業内容 描写「人体」 コンテ・パステルによるクロッキー</p> <p>第14回</p> <p>授業時間外の学習：類例作品の研究</p> <p>授業内容 講評</p> <p>第15回</p> <p>授業時間外の学習：類例作品の研究</p>
テキスト	使用しない
参考書・参考資料等	使用しない
履修上の注意	絵画制作は造形活動の出発点である。造形芸術指導に広く携わる者としての知的関心や情熱を持つての受講を望む。
成績評価の方法・基準	作品評価75%、制作態度・構想・思考25%
課題に対するフィードバックの方法	講評

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	1年次	2単位	必修
担当教員			
水野 悟			
科目ナンバリング：1L601S			
添付ファイル			

授業形態	講義
科目区分	資格関連科目
授業のテーマ	教職のあるべき姿、および現代社会での役割
授業の達成目標	教育課題を理解し、教職のありかたと役割を主体的に考えること。
授業科目の概要	<p>生徒の学校不適応の増加やいじめの背景には教員の指導力不足の指摘があり、教員の「専門職性」が問われている。これからの教員にはどのような能力が求められているかを、教育の多様な機能から多面的に考察する。</p> <p>そこで、現在「開かれた学校」への要請がある中で、教員にはより広い視野とともに公共の場をつくりだす一員としての自覚と意欲が求められる。新しい時代の教育観、教師論・教員像を考えると同時に、その資質とスキルを養成する必要がある。</p>
授業計画	<p>第1回 授業内容 ガイダンス</p> <p>第2回 授業時間外の学習：グループ討議と発表の準備、ふりかえりシート・レポートの作成 授業内容 教師の日常世界へ（専門家として、仕事、実践）</p> <p>第3回 授業時間外の学習：グループ討議と発表の準備、ふりかえりシート・レポートの作成 授業内容 授業をつくる（構成、デザイン、知識）</p> <p>第4回 授業時間外の学習：グループ討議と発表の準備、ふりかえりシート・レポートの作成 授業内容 授業から学ぶ（評価、学び）</p> <p>第5回 授業時間外の学習：グループ討議と発表の準備、ふりかえりシート・レポートの作成 授業内容 カリキュラムをデザインする（概念、ビジョン、開発と評価）</p> <p>第6回 授業時間外の学習：グループ討議と発表の準備、ふりかえりシート・レポートの作成 授業内容 子どもを育む（寄り添う、受け取る、守りの器）</p> <p>第7回 授業時間外の学習：グループ討議と発表の準備、ふりかえりシート・レポートの作成 授業内容 生涯を教師として生きる（教育実習、アイデンティティ、危機）</p> <p>第8回 授業時間外の学習：グループ討議と発表の準備、ふりかえりシート・レポートの作成 授業内容 同僚とともに学校を創る（同僚性、教師文化、チーム学校運営）</p> <p>第9回 授業時間外の学習：グループ討議と発表の準備、ふりかえりシート・レポートの作成 授業内容 時代の中の教師（近代以前、戦中、戦後、現在の教師）</p> <p>第10回 授業時間外の学習：グループ討議と発表の準備、ふりかえりシート・レポートの作成 授業内容 教師の仕事とジェンダー（女性教師と母親業）</p> <p>第11回 授業時間外の学習：グループ討議と発表の準備、ふりかえりシート・レポートの作成 授業内容 教育改革と教師の未来（転換期の学校、教師の使命、希望）</p> <p>第12回 授業時間外の学習：グループ討議と発表の準備、ふりかえりシート・レポートの作成 授業内容 教師研究へのアプローチ（情報収集、教育免許、教育法規）</p> <p>第13回 授業時間外の学習：グループ討議と発表の準備、ふりかえりシート・レポートの作成 授業内容</p>

	<p>生活指導、進路指導、クラブ論①</p> <p>第14回 授業時間外の学習：グループ討議と発表の準備、ふりかえりシート・レポートの作成 授業内容 生活指導、進路指導、クラブ論②</p> <p>第15回 授業時間外の学習：グループ討議と発表の準備、ふりかえりシート・レポートの作成 授業内容 まとめと確認 *以上の内容は、受講生の数により変更がありうる。</p> <p>授業時間外の学習：グループ討議と発表の準備、ふりかえりシート・レポートの作成</p>
テキスト	秋田喜代美・佐藤学編著「新しい時代の教職入門」（有斐閣アルマ）
参考書・参考資料等	講義の中で配布、指示する。
履修上の注意	講義への出席・参加、レポート提出が不足した場合には履修を認めない。
成績評価の方法・基準	平常点として出席（グループ討議を含む）20%、レポート40%、確認試験40%を総合的に判断して評価を定める。
課題に対するフィードバックの方法	グループ討議の内容・成果をフィードバックする。ふりかえりシートを還元する。

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
集中	2年次	1単位	必修
担当教員			
森 綾			
科目ナンバリング：2L624C			
添付ファイル			

授業形態	演習		
科目区分	資格関連科目		
授業のテーマ	工芸教職者としての在り方		
授業の達成目標	実践を通じて教える立場としての在り方を理解する。		
授業科目の概要	工芸分野の一つである陶芸の実践を通じて、指導者としての注意点やマナーを学ぶ。		
授業計画	第1回	授業内容 ガイダンス	
	第2回	授業時間外の学習：授業内容の復習 授業内容 安全講習(道具の使い方・設備の説明)	
	第3回	授業時間外の学習：授業内容の復習 授業内容 授業準備 1 (石膏ローラー作成)	
	第4回	授業時間外の学習：授業内容の復習 授業内容 授業準備 2 (陶芸の基礎知識・土ねり)	
	第5回	授業時間外の学習：授業内容の復習 授業内容 作成方法の説明・実践(手本)	
	第6回	授業時間外の学習：実践に備え、復習しておく。 授業内容 作品制作 1	
	第7回	授業時間外の学習：授業内容の復習 授業内容 作品制作 2	
	第8回	授業時間外の学習：授業内容の復習 授業内容 作品制作 3	
	第9回	授業時間外の学習：授業内容の復習 授業内容 作品制作 4	
	第10回	授業時間外の学習：授業内容の復習 授業内容 作品制作 5	
	第11回	授業時間外の学習：乾燥後の窯詰め・焼成 授業内容 絵付け 1	
	第12回	授業時間外の学習：授業内容の復習 授業内容 絵付け 2	
	第13回	授業時間外の学習：授業内容の復習 授業内容 装飾	
	第14回	授業時間外の学習：授業内容の復習 授業内容	

	<p>施釉・窯詰め</p> <p>第15回</p> <p>授業時間外の学習：授業内容の復習</p> <p>授業内容</p> <p>作品鑑賞・講評</p> <p>授業時間外の学習：事後レポートを作成</p>
テキスト	使用しない
参考書・参考資料等	使用しない
履修上の注意	<p>作業着で受講してください。</p> <p>初日に新聞紙を持ってきてください。</p>
成績評価の方法・基準	授業態度30% 小レポート20% 制作作品50%
課題に対するフィードバックの方法	講評会を行う。

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	4年次	2単位	必修
担当教員			
大橋 基博、渡辺 直彦			
科目ナンバリング：4L617S			
添付ファイル			

授業形態	演習		
科目区分	資格関連科目		
授業のテーマ	教育実習の振り返り		
授業の達成目標	教員に必要な資質、能力を確認し、自らの課題を発見する		
授業科目の概要	教育実習を反省的に振り返り、教職課程の各科目および教育実習で学んだことを確認していく		
授業計画	第1回	授業内容 教職課程を履修して（これまでの学修についての総括）	
	第2回	授業時間外の学習：発表、配布物の学習から実習の課題を見つける。 授業内容 教育実習を振りかえる①（教職の意義や教員の役割を中心に）	
	第3回	授業時間外の学習：発表、配布物の学習から実習の課題を見つける。 授業内容 教育実習を振りかえる②（生徒に対する責任等について）	
	第4回	授業時間外の学習：発表、配布物の学習から実習の課題を見つける。 授業内容 教育実習を振りかえる③（教科指導について）	
	第5回	授業時間外の学習：発表、配布物の学習から実習の課題を見つける。 授業内容 職場の対人関係を考える（組織の一員として、保護者や地域社会との関係について）	
	第6回	授業時間外の学習：ノートの整理および配布物の学習 授業内容 生徒指導を考える（問題行動への対処およびその原因について）	
	第7回	授業時間外の学習：ノートの整理および配布物の学習 授業内容 学級経営を考える（担任の役割について、年間計画について）	
	第8回	授業時間外の学習：ノートの整理および配布物の学習 授業内容 学校に行けない生徒への指導（特別講師を予定）	
	第9回	授業時間外の学習：ノートの整理および配布物の学習 授業内容 中学・高校の現状と課題①（中学校の現場教師から）	
	第10回	授業時間外の学習：ノートの整理および配布物の学習 授業内容 中学・高校の現状と課題②（高校の現場教師から）	
	第11回	授業時間外の学習：ノートの整理および配布物の学習 授業内容 模擬授業①（美術分野）	
	第12回	授業時間外の学習：模擬授業の準備 授業内容 模擬授業②（デザイン・工芸分野）	
	第13回	授業時間外の学習：模擬授業の準備 授業内容 模擬授業③（道徳、特別活動）	
	第14回	授業時間外の学習：模擬授業の準備 授業内容	

	<p>教員に必要な資質とは</p> <p>第15回</p> <p>授業時間外の学習：ノートの整理および配布物の学習</p> <p>授業内容</p> <p>今後の資質向上のための課題</p> <p>授業時間外の学習：ノートの整理および配布物の学習</p>
テキスト	中学校、高等学校学習指導要領
参考書・参考資料等	なし
履修上の注意	演習であるので、毎回出席することが条件である。一部、集中講義形式でも実施する。学外での教育関係の研究会などに参加することも求める。
成績評価の方法・基準	毎回の発言内容、模擬授業、レポートを総合して評価を出す。評価基準は、①教職の重要性、役割を理解しているかどうか②社会性、対人関係能力が付いているかどうか③生徒理解が的確か④美術・工芸の指導力があるかどうかである。
課題に対するフィードバックの方法	授業アンケートのコメントで回答する。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
集中	2年次	1単位	必修
担当教員			
木方 立樹			
科目ナンバリング：2L622C			
添付ファイル			

授業形態	演習
科目区分	資格関連科目
授業のテーマ	彫刻制作の基礎知識を得るとともに、彫刻的な観点について考察を行う。
授業の達成目標	塑像の基礎的技法を学ぶ。石膏取りの基本を学ぶ。複合的な素材を用いた立体造形制作を行い幅広く造形の魅力を知る。
授業科目の概要	塑像によるレリーフ作品制作及び任意の素材を複合的に用いる立体造形作品の制作を行う事で彫刻領域に関わる表現力を養う。
授業計画	<p>第1回 授業内容 ガイダンス及び参考作品鑑賞</p> <p>第2回 授業内容 レリーフ作品についての説明</p> <p>第3回 授業時間外の学習：参考作品の研究 授業内容 アイデアスケッチ（空間・構造の学習）</p> <p>第4回 授業内容 粘土付け（量の学習）</p> <p>第5回 授業内容 制作・仕上げ</p> <p>第6回 授業内容 石膏取りの説明</p> <p>第7回 授業内容 外型制作及び内型の流し込み</p> <p>第8回 授業内容 割り出し 修正 着色</p> <p>第9回 授業内容 立体造形作品についての説明</p> <p>第10回 授業時間外の学習：画集等資料取材、研究を各自行う 授業内容 インスタレーションの説明</p> <p>第11回 授業時間外の学習：インスタレーション作品の研究を各自行う 授業内容 アイデアスケッチ</p> <p>第12回 授業内容 制作</p> <p>第13回 授業内容 デッサン制作</p> <p>第14回 授業内容 設置</p> <p>第15回 授業内容 撮影 講評</p>
テキスト	使用しない
参考書・参考資料等	授業時間内に配布する資料を参照の事
履修上の注意	工房を使用するため、作業にあたっては作業用服装と工房ルールを遵守する事
成績評価の方法・基準	各プロセスでの目標達成率を下記の基準で評価する 授業への取り組み姿勢50%、出席及び作品の評価50%
課題に対するフィードバックの	授業時の作品講評によって行う

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年次	2単位	選択
担当教員			
高橋 綾子			
科目ナンバリング：2L612S			
添付ファイル			

授業形態	講義
科目区分	資格関連科目
授業のテーマ	博物館情報発信におけるメディア活用
授業の達成目標	メディアに関する学びを通して、博物館における情報の意義と活用方法および発信について理解し、それらの課題を考察するとともに、博物館情報に関する基礎的能力を養う。
授業科目の概要	この講義では、博物館をアナログなものとしてデジタルな情報など様々な物事を結束させる空間と位置づけ、そのメディアとしての機能を明確に把握する。さらに近年適切な利用への要請が高まっている、デジタル技術への理解と博物館情報発信への応用や、それに伴い重大化してきた知的財産権や個人情報の取り扱いについて学ぶ。
授業計画	<p>第1回 授業内容 オリエンテーション</p> <p>授業時間外の学習：準備学習：博物館のHP等を閲覧し、情報提供の在り方を確認しておく。 事後学習：板書したノートや配布された資料を見直し、要旨をまとめる。</p> <p>第2回 授業内容 メディアの歴史</p> <p>授業時間外の学習：準備学習：博物館のHP等を閲覧し、情報提供の在り方を確認しておく。 事後学習：板書したノートや配布された資料を見直し、要旨をまとめる。</p> <p>第3回 授業内容 博物館の歴史</p> <p>授業時間外の学習：準備学習：博物館のHP等を閲覧し、情報提供の在り方を確認しておく。 事後学習：板書したノートや配布された資料を見直し、要旨をまとめる。</p> <p>第4回 授業内容 メディアとしての博物館</p> <p>授業時間外の学習：準備学習：博物館のHP等を閲覧し、情報提供の在り方を確認しておく。 事後学習：板書したノートや配布された資料を見直し、要旨をまとめる。</p> <p>第5回 授業内容 博物館とメディアの基礎理論</p> <p>授業時間外の学習：準備学習：博物館のHP等を閲覧し、情報提供の在り方を確認しておく。 事後学習：板書したノートや配布された資料を見直し、要旨をまとめる。</p> <p>第6回 授業内容 メディアを用いた展示 1</p> <p>授業時間外の学習：準備学習：博物館のHP等を閲覧し、情報提供の在り方を確認しておく。 事後学習：板書したノートや配布された資料を見直し、要旨をまとめる。</p> <p>第7回 授業内容 メディアを用いた展示 2</p> <p>授業時間外の学習：準備学習：博物館のHP等を閲覧し、情報提供の在り方を確認しておく。 事後学習：板書したノートや配布された資料を見直し、要旨をまとめる。</p> <p>第8回 授業内容 デジタル・アーカイブスの構築(マルチメディア・データベース)</p> <p>授業時間外の学習：準備学習：博物館のHP等を閲覧し、情報提供の在り方を確認しておく。 事後学習：板書したノートや配布された資料を見直し、要旨をまとめる。</p> <p>第9回 授業内容 情報発信とインターネット活用</p> <p>授業時間外の学習：準備学習：博物館のHP等を閲覧し、情報提供の在り方を確認しておく。 事後学習：板書したノートや配布された資料を見直し、要旨をまとめる。</p> <p>第10回 授業内容 デジタル・ミュージアム構想について</p> <p>授業時間外の学習：準備学習：博物館のHP等を閲覧し、情報提供の在り方を確認しておく。 事後学習：板書したノートや配布された資料を見直し、要旨をまとめる。</p> <p>第11回 授業内容</p>

	<p>ユニバーサルデザインとアクセシビリティ</p> <p>授業時間外の学習：準備学習：博物館のHP等を閲覧し、情報提供の在り方を確認しておく。 事後学習：板書したノートや配布された資料を見直し、要旨をまとめる。</p> <p>第12回 授業内容 博物館における情報教育</p> <p>授業時間外の学習：準備学習：博物館のHP等を閲覧し、情報提供の在り方を確認しておく。 事後学習：板書したノートや配布された資料を見直し、要旨をまとめる。</p> <p>第13回 授業内容 博物館メディアリテラシー</p> <p>授業時間外の学習：準備学習：博物館のHP等を閲覧し、情報提供の在り方を確認しておく。 事後学習：板書したノートや配布された資料を見直し、要旨をまとめる。</p> <p>第14回 授業内容 博物館と知的財産および個人情報</p> <p>授業時間外の学習：準備学習：博物館のHP等を閲覧し、情報提供の在り方を確認しておく。 事後学習：板書したノートや配布された資料を見直し、要旨をまとめる。</p> <p>第15回 授業内容 まとめ</p> <p>授業時間外の学習：準備学習：博物館のHP等を閲覧し、情報提供の在り方を確認しておく。 事後学習：板書したノートや配布された資料を見直し、要旨をまとめる。</p>
テキスト	なし
参考書・参考資料等	授業内で適宜紹介する。
履修上の注意	博物館・美術館を訪れ、展覧会だけでなく、施設や環境について意識して見ておくこと。特に、視聴覚メディアを実際に利用者として体験することを心がけること。
成績評価の方法・基準	平常点 (30%) 授業態度 (10%) レポート (60%)
課題に対するフィードバックの方法	授業中のミニレポート内容に対するコメントを授業で行う。

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	1年次	2単位	選択
担当教員			
木見尻 哲生			
科目ナンバリング：1L605S			
添付ファイル			

授業形態	講義
科目区分	資格関連科目
授業のテーマ	社会教育の基礎を学び、生涯学習の望ましいあり方を考える
授業の達成目標	社会教育の基礎的な知識を習得するとともに、大人が学ぶことの意味や生涯学習社会の意義を理解できる。
授業科目の概要	社会教育とは、主に地方自治体が公民館・図書館・博物館などの施設を通じて、人々の学習活動を支援する仕組みである。この授業では、「社会教育・生涯学習とは何か」の具体的なイメージをつかむことから始めて、社会教育の歴史の変遷や理念、今日的な課題や問題点などを扱う。社会教育・生涯学習に関する知識を増やすだけでなく、「学びかたを学ぶ」（学ぶ姿勢を学ぶ）ことの大切さを理解して欲しい。
授業計画	<p>第1回 授業内容 授業の進め方（ガイダンス） — 社会教育と生涯学習</p> <p>第2回 授業時間外の学習：社会教育と生涯学習の違いについて考える 授業内容 身近な社会教育施設</p> <p>第3回 授業時間外の学習：自分が住んでいる地域の施設を調べる 授業内容 我が国における生涯学習の現状と課題</p> <p>第4回 授業時間外の学習：配付資料を読んで復習する 授業内容 ユネスコの生涯教育論の展開</p> <p>第5回 授業時間外の学習：社会状況に応じて生涯教育の理念が変化することを理解する 授業内容 「学習権宣言」と識字教育</p> <p>第6回 授業時間外の学習：「学習権宣言」を読んで復習する 授業内容 戦後社会教育の理念と社会教育法</p> <p>第7回 授業時間外の学習：社会教育法の理念を確認する 授業内容 臨時教育審議会と教育改革</p> <p>第8回 授業時間外の学習：臨時教育審議会がもたらした影響について考える 授業内容 社会教育施設の今日的状況</p> <p>第9回 授業時間外の学習：指定管理者制度などの実例を調べる 授業内容 社会教育のこれから（課題と展望）</p> <p>第10回 授業時間外の学習：望ましい社会教育のあり方について考えを深める 授業内容 講座の実例から学ぶ</p> <p>第11回 授業時間外の学習：面白そうな講座を見つけておく 授業内容 体験的学習の考え方1（コンセンサス・ゲームなど）</p> <p>第12回 授業時間外の学習：配付資料を読んで、様々な学習法があることを確認する 授業内容 体験的学習の考え方2（討議法、KJ法など）</p> <p>第13回 授業時間外の学習：配付資料を読んで、様々な学習法があることを確認する 授業内容 学習プログラムの作成</p>

	<p>第14回</p> <p>授業時間外の学習：どのような学習プログラムにするかを考えておく 授業内容 学習プログラムの検討（グループでの取り組み）</p> <p>第15回</p> <p>授業時間外の学習：学習プログラムを完成させる 授業内容 まとめ — 大人が学ぶということ</p> <p>授業時間外の学習：大人の学習の特徴について再確認する</p>
テキスト	使用しない。
参考書・参考資料等	授業中に指示する。
履修上の注意	博物館などを利用する際、それが社会教育施設であるということを意識して、社会教育の具体的なイメージをつかんで欲しい。
成績評価の方法・基準	平常点・ミニレポート（50%）と試験（50%）により総合的に評価する。
課題に対するフィードバックの方法	授業アンケートに対するコメントによる。

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	3年次	2単位	必修
担当教員			
水野 悟			
科目ナンバリング：3L613S			
添付ファイル			

授業形態	講義
科目区分	資格関連科目
授業のテーマ	生徒指導・進路指導のあるべき姿、および現代社会での役割
授業の達成目標	生徒指導、進路指導の意義と原理を理解する。また、それをもとに現在の教育課題を解明し、教員の資質と役割を主体的に考えること。
授業科目の概要	<p>学校内での生徒指導・進路指導は、生徒が将来に対する目的意識をもって主体的に自己の進路を選択して自己実現を図っていくものである。その為には教師が生徒との信頼関係を築きつつ、生徒たちが自らの行動に対して自省しつつ将来に希望や目標を持てるような指導が求められる。よって、担任や顧問の裁量とともに責任が問われる領域である。</p> <p>そこで、学校教育における生徒指導と進路指導の意義・目標についての理解を深める。また、具体的な展開・指導について、自らが計画・構成していくことができるようになることをめざす。</p>
授業計画	<p>第1回 授業内容 ガイダンス（生徒指導、進路指導の意義と原理の理解）</p> <p>第2回 授業時間外の学習：グループ討議と発表の準備、ふりかえりシート・レポートの作成 授業内容 生徒指導、進路指導の領域とあり方（すべての生徒を対象にした学級・学年・学校における指導、外部の専門家や関係機関との連携のあり方）</p> <p>第3回 授業時間外の学習：グループ討議と発表の準備、ふりかえりシート・レポートの作成 授業内容 生徒の環境・心理面からの話題提供と議論、提言①（いじめの現状）</p> <p>第4回 授業時間外の学習：グループ討議と発表の準備、ふりかえりシート・レポートの作成 授業内容 生徒の環境・心理面からの話題提供と議論、提言①（いじめの分析）</p> <p>第5回 授業時間外の学習：グループ討議と発表の準備、ふりかえりシート・レポートの作成 授業内容 生徒の環境・心理面からの話題提供と議論、提言①（いじめの解決）</p> <p>第6回 授業時間外の学習：グループ討議と発表の準備、ふりかえりシート・レポートの作成 授業内容 まとめとプレゼンテーション①</p> <p>第7回 授業時間外の学習：グループ討議と発表の準備、ふりかえりシート・レポートの作成 授業内容 生徒の環境・心理面からの話題提供と議論、提言②（問題行動、不登校の現状）</p> <p>第8回 授業時間外の学習：グループ討議と発表の準備、ふりかえりシート・レポートの作成 授業内容 生徒の環境・心理面からの話題提供と議論、提言②（問題行動、不登校の分析）</p> <p>第9回 授業時間外の学習：グループ討議と発表の準備、ふりかえりシート・レポートの作成 授業内容 生徒の環境・心理面からの話題提供と議論、提言②（問題行動、不登校の解決）</p> <p>第10回 授業時間外の学習：グループ討議と発表の準備、ふりかえりシート・レポートの作成 授業内容 まとめとプレゼンテーション②、他に指導死と体罰を考える</p> <p>第11回 授業時間外の学習：グループ討議と発表の準備、ふりかえりシート・レポートの作成 授業内容 生徒の環境・心理面からの話題提供と議論、提言③（進路保障とキャリア教育）</p> <p>第12回 授業時間外の学習：グループ討議と発表の準備、ふりかえりシート・レポートの作成 授業内容 生徒の環境・心理面からの話題提供と議論、提言③（進路保障とキャリア教育）</p>

	<p>第13回 授業時間外の学習：グループ討議と発表の準備、ふりかえりシート・レポートの作成 授業内容 生徒の環境・心理面からの話題提供と議論、提言③（進路保障とキャリア教育）</p> <p>第14回 授業時間外の学習：グループ討議と発表の準備、ふりかえりシート・レポートの作成 授業内容 まとめとプレゼンテーション③、他にキャリア・カウンセリング等</p> <p>第15回 授業時間外の学習：グループ討議と発表の準備、ふりかえりシート・レポートの作成 授業内容 総括とふりかえり *以上の内容と各クールの回数は変更がありうる。</p> <p>授業時間外の学習：グループ討議と発表の準備、ふりかえりシート・レポートの作成</p>
テキスト	講義の中で配布、指示する。
参考書・参考資料等	講義の中で配布、指示する。
履修上の注意	講義への出席・参加、レポート提出が不足した場合には履修を認めない。
成績評価の方法・基準	平常点として出席（グループ討議を含む）20%、レポート40%、確認試験40%を総合的に判断して評価を定める。
課題に対するフィードバックの方法	グループ討議の内容・成果をフィードバックする。ふりかえりシートを還元する。

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	3年次	2単位	必修
担当教員			
大橋 基博			
科目ナンバリング：3L609S			
添付ファイル			

授業形態	講義
科目区分	資格関連科目
授業のテーマ	学校における道徳の教育
授業の達成目標	道徳教育の目標と道徳の授業の進め方を理解し、教員としての実践的能力を高める
授業科目の概要	中学校での道徳教育はどのような形態、目的で行われるかを考え、さらに学校教育における道徳教育の具体的な課題についても考える
授業計画	<p>第1回 授業内容 1 ガイダンス</p> <p>第2回 授業時間外の学習：配布プリントを学習。板書を整理 授業内容 2 教育課程における道徳の位置付け</p> <p>第3回 授業時間外の学習：配布プリントを学習。板書を整理 授業内容 3 学習指導要領の内容</p> <p>第4回 授業時間外の学習：配布プリントを学習。板書を整理 授業内容 4 戦前日本の道徳教育</p> <p>第5回 授業時間外の学習：配布プリントを学習。板書を整理 授業内容 5 戦後教育改革と道徳教育</p> <p>第6回 授業時間外の学習：配布プリントを学習。板書を整理 授業内容 6 道徳特設への経過 1</p> <p>第7回 授業時間外の学習：配布プリントを学習。板書を整理 授業内容 7 道徳特設への経過 2</p> <p>第8回 授業時間外の学習：配布プリントを学習。板書を整理 授業内容 8 教育基本法の教育目的・目標</p> <p>第9回 授業時間外の学習：配布プリントを学習。板書を整理 授業内容 9 いじめ問題を考える・・・いじめ自殺事件から</p> <p>第10回 授業時間外の学習：配布プリントを学習。板書を整理 授業内容 10 いじめはなぜ起きるのか</p> <p>第11回 授業時間外の学習：配布プリントを学習。板書を整理 授業内容 11 いじめをなくすための基本</p> <p>第12回 授業時間外の学習：配布プリントを学習。板書を整理 授業内容 12 いじめに対する指導方法</p> <p>第13回 授業時間外の学習：配布プリントを学習。板書を整理 授業内容 13 道徳の指導方法</p> <p>授業時間外の学習：配布プリントを学習。板書を整理</p>

	<p>第14回 授業内容 14 道徳の副教材を考える</p> <p>第15回 授業時間外の学習：配布プリントを学習。板書を整理 授業内容 15 道徳の授業例 授業時間外の学習：配布プリントを学習。板書を整理</p>
テキスト	中学校学習指導要領（2017年改訂）
参考書・参考資料等	授業時に指示
履修上の注意	5回欠席(遅刻も含む)すると欠多=失格となる。欠席した場合は補充レポートを提出する。
成績評価の方法・基準	平常点 (30%) 小テスト (10%) レポート (60%)
課題に対するフィードバックの方法	授業アンケートのコメントで行う。

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	2年次	2単位	必修
担当教員			
小島 俊樹			
科目ナンバリング：2L610S			
添付ファイル			

授業形態	講義
科目区分	資格関連科目
授業のテーマ	特別活動の意義、目標及び内容と指導の在り方を理解する。
授業の達成目標	特別活動の意義、目標及び内容と指導の在り方を理解する。
授業科目の概要	前半は、HR活動生徒会活動の基本と、それらと学校・学年行事との関連を学ぶ。後半は、特別活動と教育課程で扱う課題との関連を学ぶ。試験は、それぞれの事例課題を検討し、レポートを提出する。
授業計画	<p>第1回 授業内容 学習指導要領における特別活動の目標と内容</p> <p>第2回 授業時間外の学習：配布資料に基づき復習をすすめる 授業内容 HR活動による生徒の人間関係形成—楽しいHR企画</p> <p>第3回 授業時間外の学習：配布資料に基づき復習をすすめる 授業内容 HR活動を支える組織づくり—生徒による自治</p> <p>第4回 授業時間外の学習：配布資料に基づき復習をすすめる 授業内容 生徒会活動—中学校と高校での生徒自治の役割</p> <p>第5回 授業時間外の学習：配布資料に基づき復習をすすめる 授業内容 学校・学年行事①—スポーツ行事・文化行事とHR（中学校編）</p> <p>第6回 授業時間外の学習：配布資料に基づき復習をすすめる 授業内容 学校・学年行事②—スポーツ行事・文化行事とHR（高校校編）</p> <p>第7回 授業時間外の学習：配布資料に基づき復習をすすめる 授業内容 学校・学年行事③—校外学習・修学旅行とHR</p> <p>第8回 授業時間外の学習：配布資料に基づき復習をすすめる 授業内容 中間まとめ 問題事例で解決を探る参加型授業①（中間レポート）</p> <p>第9回 授業時間外の学習：配布資料に基づき復習をすすめる 授業内容 特別活動といじめ・不登校問題（事例を中心に）</p> <p>第10回 授業時間外の学習：配布資料に基づき復習をすすめる 授業内容 特別活動と人権問題（障がい者との共生）</p> <p>第11回 授業時間外の学習：配布資料に基づき復習をすすめる 授業内容 特別活動とキャリア教育（就業体験）</p> <p>第12回 授業時間外の学習：配布資料に基づき復習をすすめる 授業内容 特別活動と主権者教育（模擬投票）</p> <p>第13回 授業時間外の学習：配布資料に基づき復習をすすめる 授業内容 特別活動と地域連携①（街おこし）</p> <p>授業時間外の学習：配布資料に基づき復習をすすめる</p>

	<p>第14回 授業内容 特別活動と地域連携②（防災問題）</p> <p>第15回 授業時間外の学習：配布資料に基づき復習をすすめる 授業内容 まとめ 問題事例で解決を探る参加型授業②（最終レポート） 授業時間外の学習：配布資料に基づき復習をすすめる</p>
テキスト	授業中に適宜資料を配布する。
参考書・参考資料等	中学校学習指導要領、高等学校指導要領（文部科学省） 中学校学習指導要領、高等学校指導要領解説（文部科学省）
履修上の注意	授業時に指示
成績評価の方法・基準	レポート試験：中間レポート（50%） 最終レポート（50%） 定期試験は実施しない
課題に対するフィードバックの方法	授業時に指示

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	2年次	2単位	必修
担当教員			
胡 琴菊			
科目ナンバリング：2L603S			
添付ファイル			

授業形態	講義
科目区分	資格関連科目
授業のテーマ	人間発達の全体像を探る
授業の達成目標	乳児期・幼児期・児童期・青年期・成人期・老年期といった生涯発達の様々な時期の特徴を理解できる。知能、思考、感情、人間関係など人間の様々な機能の発達の過程を理解できる。
授業科目の概要	発達とは一般に子どもが生まれ、大人になる過程での変化を指し、これには身長や体重、運動機能、知能や思考、感情、人間関係などの側面が含まれる。近年は生涯発達心理学の視点から成人期や老年期の変化をも捉えることが一般的になっている。日常生活、教育、医療、対人援助・支援においても発達の視点は欠かすことができない。授業では誕生から死に至る過程について、生涯発達心理学の観点から理解することを目的とする。
授業計画	<p>第1回 インTRODクシヨン 授業時間外の学習：発達とは何かについて理解する</p> <p>第2回 発達の基礎理論（発達段階・発達課題・発達要因） 授業時間外の学習：発達段階、発達課題、発達理論について理解する</p> <p>第3回 学習の原理（学習のメカニズム・学習諸相） 授業時間外の学習：学習のメカニズムについて理解する</p> <p>第4回 乳児期の心理（心身機能の発達） 授業時間外の学習：愛着・認知発達の基礎について理解する</p> <p>第5回 乳児期の学習過程（人間関係などの環境的要因） 授業時間外の学習：表象の獲得について理解する</p> <p>第6回 幼児期の心理（心身機能の発達） 授業時間外の学習：言語の獲得やコミュニケーションの発達を理解する</p> <p>第7回 幼児期の学習過程（人間関係などの環境的要因） 授業時間外の学習：社会性の発達（遊びの発達等）について理解する</p> <p>第8回 児童期の心理（心身機能の発達） 授業時間外の学習：知的機能（思考や記憶等）の発達について理解する</p> <p>第9回 児童期の学習過程（人間関係などの環境的要因） 授業時間外の学習：教室環境での発達について理解する</p> <p>第10回 青年期の心理（心身機能の発達） 授業時間外の学習：青年期の心身機能の発達について理解する</p> <p>第11回 青年期の学習過程（人間関係などの環境的要因） 授業時間外の学習：アイデンティティの統合について理解する</p> <p>第12回 成人期の心理（心身機能の発達） 授業時間外の学習：成人期の心身機能の発達について理解する</p> <p>第13回 成人期の学習過程（人間関係などの環境的要因） 授業時間外の学習：他者・社会との関わりについて理解する</p> <p>第14回 成人期以降の心理（心身機能の発達） 授業時間外の学習：中高年期の心身機能の発達について理解する</p> <p>第15回 成人期以降の学習過程（人間関係などの環境的要因） 授業時間外の学習：中高年期の人生の折り返し点からの発達について理解する</p>
テキスト	適宜プリントを授業内で配布する。
参考書・参考資料等	随時授業中に紹介する。
履修上の注意	授業中は私語や携帯電話などのマナーを守って他の受講生の迷惑にならないよう受講して欲しい。授業内容と他の心理学科目、自身の生活や経験したこと、自分・人間・社会がどのように関わり合っているのかを結びつけて考える姿勢を期待する。
成績評価の方法・基準	講義への積極的参加度・小レポート70%、定期試験30%等により総合的評価する。
課題に対するフィードバックの	授業アンケート結果にコメントを入れる。

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	3年次	2単位	必修
担当教員			
宮島 みどり			
科目ナンバリング：3L606S			
添付ファイル			

授業形態	講義																		
科目区分	資格関連科目																		
授業のテーマ	学習指導要領の学習と理解																		
授業の達成目標	美術科の教育理念、学習指導要領に沿った年間指導計画の作成																		
授業科目の概要	美術教育の理論と使命をよく理解し、その教育に携わるのに必要な学習指導要領を解説しながら、指導計画を立てるように、実際の場面を仮定し作成してみる。																		
授業計画	<p>第1回 授業内容：ガイダンス 授業時間外の学習：授業中に観たDVDの感想文作成</p> <p>第2回 授業内容：美術科教育の理論（1） 授業時間外の学習：授業ノートを基に授業内容を予習する</p> <p>第3回 授業内容：美術科教育の理論（2） 授業時間外の学習：授業ノート・配布物を基に授業内容を学習する</p> <p>第4回 授業内容：中学校学習指導要領の概説（1） 授業時間外の学習：テキスト(中学校学習指導要領解説)を読んてくる</p> <p>第5回 授業内容：中学校学習指導要領の概説（2） 授業時間外の学習：テキスト(中学校学習指導要領解説)を読んてくる</p> <p>第6回 授業内容：中学校学習指導要領の概説（3） 授業時間外の学習：テキスト(中学校学習指導要領解説)を読んてくる</p> <p>第7回 授業内容：中学校学習指導要領の概説（4） 授業時間外の学習：テキスト(中学校学習指導要領解説)を読んてくる</p> <p>第8回 授業内容：高等学校学習指導要領の概説（1） 授業時間外の学習：配布プリントを基に授業内容を予習する</p> <p>第9回 授業内容：高等学校学習指導要領の概説（2） 授業時間外の学習：配布プリントを基に授業内容を予習する</p> <p>第10回 授業内容：年間指導計画の研究 授業時間外の学習：年間指導計画の作成準備</p> <p>第11回 授業内容：年間指導計画の作成（1） 授業時間外の学習：年間指導計画の作成準備</p> <p>第12回 授業内容：年間指導計画の作成（2） 授業時間外の学習：年間指導計画の作成準備</p> <p>第13回 授業内容：年間指導計画の作成（3） 授業時間外の学習：年間指導計画の作成準備</p> <p>第14回 授業内容：年間指導計画の作成（4） 授業時間外の学習：年間指導計画の作成完成提出準備</p> <p>第15回 授業内容：まとめ 授業時間外の学習：レポート等提出物の再確認</p>																		
テキスト	<table border="0"> <tr> <td>書名</td> <td>著者名</td> <td>出版社</td> </tr> <tr> <td>中学校学習指導要領解説—美術編—</td> <td>文部科学省</td> <td>日本文教出版</td> </tr> <tr> <td>授業ノート</td> <td>今西英雄 編</td> <td>言文者印刷</td> </tr> <tr> <td>美術1（中学校美術科教科書）[中学で実習希望者]</td> <td>大澤晃 他</td> <td>日本文教出版</td> </tr> <tr> <td>美術I（高等学校美術科教科書）[高校で実習希望者]</td> <td>原研哉 他</td> <td>日本文教出版</td> </tr> <tr> <td>美術資料</td> <td>京都市立芸術大学美術教育研究会他編集</td> <td>秀学社</td> </tr> </table>	書名	著者名	出版社	中学校学習指導要領解説—美術編—	文部科学省	日本文教出版	授業ノート	今西英雄 編	言文者印刷	美術1（中学校美術科教科書）[中学で実習希望者]	大澤晃 他	日本文教出版	美術I（高等学校美術科教科書）[高校で実習希望者]	原研哉 他	日本文教出版	美術資料	京都市立芸術大学美術教育研究会他編集	秀学社
書名	著者名	出版社																	
中学校学習指導要領解説—美術編—	文部科学省	日本文教出版																	
授業ノート	今西英雄 編	言文者印刷																	
美術1（中学校美術科教科書）[中学で実習希望者]	大澤晃 他	日本文教出版																	
美術I（高等学校美術科教科書）[高校で実習希望者]	原研哉 他	日本文教出版																	
美術資料	京都市立芸術大学美術教育研究会他編集	秀学社																	
参考書・参考資料等	授業時に、参考資料・プリント等配布																		
履修上の注意	授業ノート（テキスト）は、講義時販売予定 [¥1000] 5回欠席（遅刻も含む）すると欠多=失格。欠席者は、その都度レポート提出。																		
成績評価の方法・基準	平常点 30% レポート等提出物 60% 授業態度 10%																		
課題に対するフィードバックの	授業アンケート結果にコメントを入れる。																		

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	3年次	2単位	必修
担当教員			
宮島 みどり、金澤 秀晃			
科目ナンバリング：3L607S			
添付ファイル			

授業形態	講義															
科目区分	資格関連科目															
授業のテーマ	美術科の教育内容と教材研究															
授業の達成目標	美術科の教育理念、学習指導要領に沿った指導案の作成															
授業科目の概要	美術教育の理論と使命をよく理解し、学習指導要領に基づいた指導案を立て、実際の場面を仮定し作成した模擬授業を通し、より精鋭された指導案作成をする。															
授業計画	<p>第1回 授業内容 評価について 授業時間外の学習：ノートの整理、配布物の学習</p> <p>第2回 授業内容 指導案について 授業時間外の学習：授業ノート・配布物を基に授業内容を学習する</p> <p>第3回 授業内容 教材研究作成 授業時間外の学習：教材研究作成準備</p> <p>第4回 授業内容 指導案作成 授業時間外の学習：教材研究作成完成、提出準備 指導案作成準備</p> <p>第5回 授業内容 4年生の模擬授業見学（1） 授業時間外の学習：指導案作成準備</p> <p>第6回 授業内容 4年生の模擬授業見学（2） 授業時間外の学習：指導案作成準備</p> <p>第7回 授業内容 4年生の模擬授業見学（3） 授業時間外の学習：指導案作成準備</p> <p>第8回 授業内容 4年生の模擬授業見学（4） 授業時間外の学習：指導案作成準備</p> <p>第9回 授業内容 指導案作成 授業時間外の学習：模擬授業の準備</p> <p>第10回 授業内容 指導案に基づく模擬授業（1） 授業時間外の学習：学習指導案の作成提出準備 模擬授業の準備</p> <p>第11回 授業内容 指導案に基づく模擬授業（2） 授業時間外の学習：学習指導案の作成提出準備 模擬授業の準備</p> <p>第12回 授業内容 指導案に基づく模擬授業（3） 授業時間外の学習：学習指導案の作成提出準備 模擬授業の準備</p> <p>第13回 授業内容 指導案に基づく模擬授業（4） 授業時間外の学習：学習指導案の作成提出準備 模擬授業の準備</p> <p>第14回 授業内容 指導案再構築、作成 授業時間外の学習：教材研究・学習指導案の作成提出準備</p> <p>第15回 授業内容 まとめ 授業時間外の学習：レポート等提出物の再確認 アンケート記入</p>															
テキスト	<table border="0"> <tr> <td>書名</td> <td>著者名</td> <td>出版社</td> </tr> <tr> <td>中学校学習指導要領解説—美術編— 授業ノート</td> <td>文部科学省 今西英雄 編</td> <td>日本文教出版 言文者印刷</td> </tr> <tr> <td>美術1（中学校美術科教科書）[中学で実習希望者]</td> <td>大澤晃 他</td> <td>日本文教出版</td> </tr> <tr> <td>美術I（高等学校美術科教科書）[高校で実習希望者]</td> <td>原研哉 他</td> <td>日本文教出版</td> </tr> <tr> <td>美術資料</td> <td>京都市立芸術大学美術教育研究会他編集</td> <td>秀学社</td> </tr> </table>	書名	著者名	出版社	中学校学習指導要領解説—美術編— 授業ノート	文部科学省 今西英雄 編	日本文教出版 言文者印刷	美術1（中学校美術科教科書）[中学で実習希望者]	大澤晃 他	日本文教出版	美術I（高等学校美術科教科書）[高校で実習希望者]	原研哉 他	日本文教出版	美術資料	京都市立芸術大学美術教育研究会他編集	秀学社
書名	著者名	出版社														
中学校学習指導要領解説—美術編— 授業ノート	文部科学省 今西英雄 編	日本文教出版 言文者印刷														
美術1（中学校美術科教科書）[中学で実習希望者]	大澤晃 他	日本文教出版														
美術I（高等学校美術科教科書）[高校で実習希望者]	原研哉 他	日本文教出版														
美術資料	京都市立芸術大学美術教育研究会他編集	秀学社														
参考書・参考資料等	授業時に、参考資料・プリント配布															
履修上の注意	5回欠席（遅刻も含む）すると欠多=失格。欠席者は、その都度レポート提出。															
成績評価の方法・基準	平常点50% レポート等提出物40% 授業態度 10%															

課題に対する フィードバックの 方法	授業のまとめの時、またはアンケート結果にコメントを示す。
--------------------------	------------------------------

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期・集中	3年次	2単位	選択必修
担当教員			
高橋 承一、田内 公望			
科目ナンバリング：3L608C			
添付ファイル			

授業形態	講義
科目区分	資格関連科目
授業のテーマ	美術科の多様な指導方法と評価の方法
授業の達成目標	美術科の指導において主体的、対話的な授業を作り上げるための様々な授業の実施形態についての実践的能力を獲得する。
授業科目の概要	学校現場で行われている様々な美術関連の授業の形態を学び、実際にそれらを体験し、自らも実施する。
授業計画	<p>第1回 授業内容 ガイダンス(美術の様々な授業形態について)1回から8回まで高橋</p> <p>第2回 授業時間外の学習：プリント、ノートの整理 授業内容 美術教育の現状（学習指導要領での位置づけ、変遷）</p> <p>第3回 授業時間外の学習：プリント、ノートの整理 授業内容 デザインの教材研究（教材のねらいと授業展開）</p> <p>第4回 授業時間外の学習：授業時の課題を実施する。 授業内容 デザインの教材研究（指導方法について）</p> <p>第5回 授業時間外の学習：授業時の課題を実施する。 授業内容 鑑賞の教材研究（教材のねらいと授業展開）</p> <p>第6回 授業時間外の学習：授業時の課題を実施する。 授業内容 鑑賞の教材研究（指導方法について）</p> <p>第7回 授業時間外の学習：授業時の課題を実施する。 授業内容 美術館でのワークショップ（展示物の鑑賞）</p> <p>第8回 授業時間外の学習：展示物についての詳細を調査。 授業内容 美術館でのワークショップ（作品についてのプレゼンテーション）</p> <p>第9回 授業時間外の学習：展示物についての詳細を調査。 授業内容 新学習指導要領における美術科の変更点と特徴 9回から15回まで田内</p> <p>第10回 授業時間外の学習：プリント、ノートの整理 授業内容 絵画の教材研究（教材のねらいと授業展開）</p> <p>第11回 授業時間外の学習：授業時の課題を実施する。 授業内容 絵画の教材研究（指導方法について）</p> <p>第12回 授業時間外の学習：授業時の課題を実施する。 授業内容 版画の教材研究（教材のねらいと授業展開）</p> <p>第13回 授業時間外の学習：授業時の課題を実施する。 授業内容 版画の教材研究（指導方法について） 授業時間外の学習：授業時の課題を実施する。</p>

	<p>第14回 授業内容 日本の伝統的美術について</p> <p>第15回 授業時間外の学習：プリント、ノートの整理 授業内容 美術科の評価について 授業時間外の学習：プリント、ノートの整理</p>
テキスト	なし
参考書・参考資料等	中学・高校学習指導要領、その他授業時に指示する。
履修上の注意	学外授業、集中講義があるので日程について注意すること。
成績評価の方法・基準	授業でのレポートや教材研究提出物等をもとに評価する。
課題に対するフィードバックの方法	授業のまとめのときおよび課題の返却時にコメントを示す。

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	3年次	1単位	必修
担当教員			
遠藤 由美			
科目ナンバリング：3L618S			
添付ファイル			

授業形態	講義
科目区分	資格関連科目
授業のテーマ	介護等体験の事前学習
授業の達成目標	介護等体験の意義と体験先施設について説明することができる
授業科目の概要	教員免許（中学校1種）取得希望者が介護等体験に備えるものである。介護等体験として出かける特別支援学校・社会福祉施設について役割と種類、体験先について学ぶ。
授業計画	<p>第1回 授業内容 オリエンテーション</p> <p>第2回 授業時間外の学習：障害児・福祉との関わりを振り返る 授業内容 「介護等体験」とは ①義務教育の課題 ②「介護等体験」の実際</p> <p>第3回 授業時間外の学習：配布資料をもとに復習する 授業内容 「介護等体験」の意義</p> <p>第4回 授業時間外の学習：自分にとっての意義を整理する 授業内容 特別支援教育 ①特別支援教育とは ②特別支援教育の実際</p> <p>第5回 授業時間外の学習：配布資料をもとに復習する 授業内容 社会福祉施設 ①社会福祉施設の役割 ②社会福祉施設の種類</p> <p>第6回 授業時間外の学習：配布資料をもとに復習する 授業内容 「介護等体験」の実際 ①特別支援学校における体験 ②社会福祉施設における体験</p> <p>第7回 授業時間外の学習：授業内容をもとに復習する 授業内容 造形学生の体験と自らの課題設定</p> <p>第8回 授業時間外の学習：自らの実習計画を作成する 授業内容 体験記録の記入方法と介護等体験証明書の扱い 授業時間外の学習：配布資料と講義ノートをもとに復習する</p>
テキスト	特別支援学校校長会編『フィリア』、全国社会福祉協議会編『新・社会福祉施設』
参考書・参考資料等	特に指定しない。必要な場合授業時に指示する。
履修上の注意	8回しか行われない授業である。3回欠席すると失格（体験不許可）。
成績評価の方法・基準	授業内レポート 30% 介護等体験計画（期末レポート）70%
課題に対するフィードバックの方法	授業アンケート結果にコメントを入れる。

講義科目名称： 福祉体験Ⅱ

授業コード： L191

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
集中	3年次	1単位	必修
担当教員			
大橋 基博			
科目ナンバリング：3L619C			
添付ファイル			

授業形態	実習
科目区分	資格関連科目
授業のテーマ	介護等の体験
授業の達成目標	社会福祉施設および特別支援学校での介護等体験を円滑に実施する。
授業科目の概要	特別支援学校および社会福祉施設における介護体験を通して福祉問題とその対象者への支援のあり方を学ぶ
授業計画	<p>第1回 授業内容 特別支援学校における実習 2日間</p> <p>第2回 授業時間外の学習：学校の指示に基づく 授業内容 社会福祉施設における実習 5日間 授業時間外の学習：施設の指示に基づく</p>
テキスト	なし
参考書・参考資料等	授業時に指示する
履修上の注意	中学校免許取得希望者は必ず履修すること。 無断遅刻・欠席、許容できない理由による遅刻、欠席をした者の履修は取り消す。
成績評価の方法・基準	実習記録内容（60%）、先方職員の評価（40%）を加味して評価する。
課題に対するフィードバックの方法	3年後期の教職課程の講義時間後、コメントする。

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
集中	4年次	1単位	必修
担当教員			
高橋 綾子			
科目ナンバリング：4L708C			
添付ファイル			

授業形態	実習
科目区分	資格関連科目
授業のテーマ	博物館学芸員課程必修体験実習
授業の達成目標	博物館・美術館での実習を通して学芸員とその仕事について深く理解する
授業科目の概要	各実習館により異なる。各実習館にて、初日に説明があり、その指導に従う。事後レポートのための、それぞれの館で資料を収集する
授業計画	<p>第1回 授業内容 博物館・美術館での実習</p> <p>第2回 授業時間外の学習：準備学習；実習館の収集作品の特徴を調べる 授業内容 博物館・美術館での実習</p> <p>第3回 授業時間外の学習：事前に当日の予定確認。事後に実習ノート作成 授業内容 博物館・美術館での実習</p> <p>第4回 授業時間外の学習：事前に当日の予定確認。事後に実習ノート作成 授業内容 博物館・美術館での実習</p> <p>第5回 授業時間外の学習：事前に当日の予定確認。事後に実習ノート作成 授業内容 博物館・美術館での実習</p> <p>第6回 授業時間外の学習：事前に当日の予定確認。事後に実習ノート作成 授業内容 博物館・美術館での実習</p> <p>第7回 授業時間外の学習：事前に当日の予定確認。事後に実習ノート作成 授業内容 博物館・美術館での実習</p> <p>第8回 授業時間外の学習：事前に当日の予定確認。事後に実習ノート作成 授業内容 博物館・美術館での実習</p> <p>第9回 授業時間外の学習：事前に当日の予定確認。事後に実習ノート作成 授業内容 博物館・美術館での実習</p> <p>第10回 授業時間外の学習：事前に当日の予定確認。事後に実習ノート作成 授業内容 博物館・美術館での実習</p> <p>第11回 授業時間外の学習：事前に当日の予定確認。事後に実習ノート作成 授業内容 博物館・美術館での実習</p> <p>第12回 授業時間外の学習：事前に当日の予定確認。事後に実習ノート作成 授業内容 博物館・美術館での実習</p> <p>第13回 授業時間外の学習：事前に当日の予定確認。事後に実習ノート作成 授業内容 博物館・美術館での実習</p> <p>授業時間外の学習：事前に当日の予定確認。事後に実習ノート作成</p>

	<p>第14回 授業内容 博物館・美術館での実習</p> <p>第15回 授業時間外の学習：事前に当日の予定確認。事後に実習ノート作成 授業内容 博物館・美術館での実習 授業時間外の学習：事前に当日の予定確認。事後に実習ノート作成</p>
テキスト	特になし。各実習館担当学芸員の指示に従う。
参考書・参考資料等	各実習館の所蔵品カタログ
履修上の注意	実習館の指示に従うことと、欠席は認められない。その他に関しては、事前指導にて詳しく説明する。
成績評価の方法・基準	実習館担当学芸員の評価に基づく。
課題に対するフィードバックの方法	実習ノートに実習中の記録の最後にコメントが記される。

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
3年後期～4年通年	3～4年次	1単位	必修
担当教員			
高橋 綾子			
科目ナンバリング：3L707S			
添付ファイル			

授業形態	実習		
科目区分	資格関連科目		
授業のテーマ	博物館・美術館学芸員活動の事前理解と事後総括		
授業の達成目標	美術館・博物館実習に先立つ必要な知識や技術の習得を目指す事前指導 館務実習後その内容を検証し、その学習成果を報告発表により定着させることを目指す事後指導		
授業科目の概要	博物館実習準備学習のための博物館訪問と事後の報告発表		
授業計画	第1回	授業内容 希望の実習館を決めるための各自による美術館博物館訪問に先立ち指導する	
	第2回	授業時間外の学習：シラバスを読む。希望館3館の見学 授業内容 次年度の館務実習に備え、館務実習を体験した4年生からその研修経験を聞く	
	第3回	授業時間外の学習：4年生の実習館を確認する。報告に関してレポートする。 授業内容 次年度の館務実習に備え、館務実習を体験した4年生からその研修経験を聞く	
	第4回	授業時間外の学習：4年生の実習館を確認する。報告に関してレポートする。 授業内容 全員で美術館を訪問し、実際の美術館・博物館の学芸員から現在の館のありよう・バックヤード見学や展示の工夫等の講義を受け、見聞し、レポート作成する（美術館めぐりー1月の補講日に一回）	
	第5回	授業時間外の学習：見学予定館の確認。見学後レポート作成。 授業内容 全員で美術館を訪問し、実際の美術館・博物館の学芸員から現在の館のありよう・バックヤード見学や展示の工夫等の講義を受け、見聞し、レポート作成する（美術館めぐりー1月の補講日に一回）	
	第6回	授業時間外の学習：見学予定館の確認。見学後レポート作成。 授業内容 全員で美術館を訪問し、実際の美術館・博物館の学芸員から現在の館のありよう・バックヤード見学や展示の工夫等の講義を受け、見聞し、レポート作成する（美術館めぐりー1月の補講日に一回）	
	第7回	授業時間外の学習：見学予定館の確認。見学後レポート作成。 授業内容 全員で美術館を訪問し、実際の美術館・博物館の学芸員から現在の館のありよう・バックヤード見学や展示の工夫等の講義を受け、見聞し、レポート作成する（美術館めぐりー1月の補講日に一回）	
	第8回	授業時間外の学習：見学予定館の確認。見学後レポート作成。 授業内容 次年度館務実習用書類作成と美術作品の扱い方の実習	
	第9回	授業時間外の学習：実習予定館を決定 美術品の扱い方のレポート作成 授業内容 次年度館務実習用書類作成と美術作品の扱い方の実習	
	第10回	授業時間外の学習：実習予定館概要調査 美術品の扱い方のレポート作成 授業内容 次年度館務実習用書類作成と美術作品の扱い方の実習	
	第11回	授業時間外の学習：実習予定館収蔵作品調べ 美術品の扱い方のレポート作成 授業内容 個別に、志望実習館への書類・選考レポートの添削指導（各館の募集要項の出る12月から1月にかけて、事前申し込み制） 授業時間外の学習：志望実習館の選考レポートの下書き。添削後のレポート修正	

	<p>第12回 授業内容 個別に、志望実習館への書類・選考レポートの添削指導（各館の募集要項の出る12月から1月にかけて、事前申し込み制）</p> <p>授業時間外の学習：修正レポート作成 添削後のレポート修正</p> <p>第13回 授業内容 美術館・博物館実習における注意事項・心構え・報告書等書類の書き方・礼儀等全般を指導。事前・事後レポート課題</p> <p>授業時間外の学習：実習予定館収蔵作品レポート作成</p> <p>第14回 授業内容 館務実習終了後各館の実習体験を総括して3年生に向けて口頭発表し、自己評価・反省・検討を事後レポートとともに提出</p> <p>授業時間外の学習：発表原稿作成 事後レポート作成</p> <p>第15回 授業内容 館務実習終了後各館の実習体験を総括して3年生に向けて口頭発表し、自己評価・反省・検討を事後レポートとともに提出</p> <p>授業時間外の学習：発表原稿作成 事後レポート作成</p>
テキスト	特になし
参考書・参考資料等	実習館のカタログ
履修上の注意	欠席は認められない。（やむおえず欠席の場合は事前に欠席届を出す）
成績評価の方法・基準	口頭発表・事前事後レポートによる
課題に対するフィードバックの方法	発表・事前事後レポートを添削後返却

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	1年次	2単位	必修
担当教員			
高橋 綾子			
科目ナンバリング：1L701S			
添付ファイル			

授業形態	講義
科目区分	資格関連科目
授業のテーマ	博物館に関する基礎的な知識を身につけ、専門的な学習の基盤となる能力を養う。博物館・美術館の学芸員になるために必要である基本的な博物館の概念、理論と実践に関する概要を網羅的に学習することを目的としている。
授業の達成目標	博物館・美術館の学芸員になるために必要である基本的な博物館の概念、理論と実践に関する概要を網羅的に学習することを目的としている。
授業科目の概要	博物館の意義と目的、歴史と現状について、欧米と日本における比較も含め概説する。博物館の収集、調査、研究、教育普及といった機能、学芸員の基本的な役割について講ずる。できるだけ事例を紹介しながら、博物館の取り巻く諸問題も含め言及する。
授業計画	<p>第1回 授業内容 ガイダンス 博物館の定義と分類</p> <p>第2回 授業時間外の学習：配布資料とノートをもとに復習 授業内容 博物館の歴史 ルーブル美術館 1</p> <p>第3回 授業時間外の学習：配布資料とノートをもとに復習 授業内容 博物館の実例：ルーブル美術館 2</p> <p>第4回 授業時間外の学習：配布資料とノートをもとに復習 授業内容 博物館の歴史：日本 1</p> <p>第5回 授業時間外の学習：配布資料とノートをもとに復習 授業内容 博物館の歴史：日本 2</p> <p>第6回 授業時間外の学習：配布資料とノートをもとに復習 授業内容 博物館の機能：調査研究</p> <p>第7回 授業時間外の学習：配布資料とノートをもとに復習 授業内容 博物館の機能：展示・教育普及</p> <p>第8回 授業時間外の学習：配布資料とノートをもとに復習 授業内容 博物館の機能：収集保存</p> <p>第9回 授業時間外の学習：配布資料とノートをもとに復習 授業内容 博物館における学芸員の役割</p> <p>第10回 授業時間外の学習：配布資料とノートをもとに復習 授業内容 博物館法：公立博物館と私立博物館</p> <p>第11回 授業時間外の学習：配布資料とノートをもとに復習 授業内容 博物館における学芸員の役割</p> <p>第12回 授業時間外の学習：配布資料とノートをもとに復習 授業内容 博物館と情報社会</p> <p>第13回 授業時間外の学習：配布資料とノートをもとに復習 授業内容</p>

	<p>博物館の現状と問題点</p> <p>第14回 授業時間外の学習：配布資料とノートをもとに復習 授業内容 博物館への支援と未来</p> <p>第15回 授業時間外の学習：配布資料とノートをもとに復習 授業内容 記述試験</p>
テキスト	特に使用しない
参考書・参考資料等	<p>「進化する美術館」K. シュバート 玉川大学出版部（2004）</p> <p>「博物館概論」大堀哲編 学文社（2005）</p> <p>「新版美術館学入門」井出洋一郎 明星大学出版部（2005）</p> <p>「新しい博物館学」全国大学博物館学講座協議会西日本支部会編（2008）など</p>
履修上の注意	博物館・美術館を訪れ、展覧会だけでなく、施設や環境について意識して見ておくこと。
成績評価の方法・基準	平常点（30%） 授業態度（10%） レポート（60%）
課題に対するフィードバックの方法	授業中のミニレポート内容に対するコメントを授業で行う

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	2年次	2単位	必修
担当教員			
都筑 正敏			
科目ナンバリング：2L704S			
添付ファイル			

授業形態	講義
科目区分	資格関連科目
授業のテーマ	現代の博物館における教育活動
授業の達成目標	博物館における教育活動の理念を理解し、実践例を通じて基礎的な知識を得ること。具体的な活動の実践を通じて、今日における博物館教育の重要性とその意義について考えることができるようになること。
授業科目の概要	博物館における教育活動の理念や歴史の変遷、実践に関する知識や方法について講義したあと、教育活動の実践を通じてその意義や方法、配慮する点などを体験する。
授業計画	<p>第1回 授業内容 ガイダンス、博物館教育とは</p> <p>第2回 授業時間外の学習：特になし 授業内容 教育活動の諸形態</p> <p>第3回 授業時間外の学習：特になし 授業内容 博物館教育の実際 美術館におけるキ ョラリートーク</p> <p>第4回 授業時間外の学習：配布資料とノートをもとに復習 授業内容 キ ョラリートークの実践(1)キ ョラリートークの組み立てについて</p> <p>第5回 授業時間外の学習：配布資料とノートをもとに復習 授業内容 キ ョラリートークの実践(2)ク ルーフ て の話し合い</p> <p>第6回 授業時間外の学習：トーク対象作品について調査 授業内容 キ ョラリートークの実践(3)ク ルーフ て の話し合い</p> <p>第7回 授業時間外の学習：トーク対象作品について調査 授業内容 キ ョラリートークの実践(4) トーク実演</p> <p>第8回 授業時間外の学習：発表の準備 授業内容 キ ョラリートークの実践(5) トーク実演、まとめ</p> <p>第9回 授業時間外の学習：発表の準備 授業内容 美術館における教育活動見学1</p> <p>第10回 授業時間外の学習：事後レポート作成 授業内容 同上</p> <p>第11回 授業時間外の学習：事後レポート作成 授業内容 博物館教育の実際 美術館におけるワークショップ について</p> <p>第12回 授業時間外の学習：特になし 授業内容 ワークショップの実践</p> <p>第13回 授業時間外の学習：ワークショップの準備 授業内容 ワークショップの実践 授業時間外の学習：ワークショップの準備</p>

	<p>第14回 授業内容 ワークショップの実践</p> <p>第15回 授業時間外の学習：ワークショップの準備 授業内容 まとめ 授業時間外の学習：配布資料とノートをもとに復習</p>
テキスト	なし（プリントを配布）
参考書・参考資料等	授業内で提示
履修上の注意	グループワークでの授業が中心となります。美術館での教育活動見学については入場料が必要となります。
成績評価の方法・基準	平常点 30% 授業課題 30% レポート 40%
課題に対するフィードバックの方法	課題に対してその場でコメントを返す他、グループでの発表に対してコメントをする。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	3年次	2単位	必修
担当教員			
高橋 綾子			
科目ナンバリング：3L702S			
添付ファイル			

授業形態	講義
科目区分	資格関連科目
授業のテーマ	現代の博物館における経営
授業の達成目標	博物館施設の特有の管理・運営について理解し、今日の博物館とその経営に関する問題を考えることができるようになること。
授業科目の概要	博物館施設の特有の管理・運営について理解し、博物館経営に関する基礎的な知識を得る。ミュージアム・マネジメントについて、それを支える行財政制度と施設、組織などの現状を知る。使命、計画、評価からなる博物館経営を、具体例や実践を通して理解し、現代的な課題や展望を得る。
授業計画	<p>第1回 授業内容 イントロダクション～地域社会における博物館とは</p> <p>第2回 授業時間外の学習：ノートや配布資料をもとに授業内容の復習 授業内容 博物館経営とは／ミュージアム・マネジメントの特性と課題</p> <p>第3回 授業時間外の学習：ノートや配布資料をもとに授業内容の復習 授業内容 日本の博物館制度／国と文化政策</p> <p>第4回 授業時間外の学習：ノートや配布資料をもとに授業内容の復習 授業内容 博物館をとりまく社会と人々：組織と人材</p> <p>第5回 授業時間外の学習：ノートや配布資料をもとに授業内容の復習 授業内容 事例紹介1：東京国立博物館など</p> <p>第6回 授業時間外の学習：ノートや配布資料をもとに授業内容の復習 授業内容 事例紹介2：動物園と水族館</p> <p>第7回 授業時間外の学習：ノートや配布資料をもとに授業内容の復習 授業内容 事例紹介3：森美術館と金沢21世紀美術館など</p> <p>第8回 授業時間外の学習：ノートや配布資料をもとに授業内容の復習 授業内容 指定管理者制度</p> <p>第9回 授業時間外の学習：ノートや配布資料をもとに授業内容の復習 授業内容 ミュージアムショップとレストラン</p> <p>第10回 授業時間外の学習：ノートや配布資料をもとに授業内容の復習 授業内容 オリジナル商品の企画と著作権</p> <p>第11回 授業時間外の学習：ノートや配布資料をもとに授業内容の復習 授業内容 博物館とメディア（広報企画）</p> <p>第12回 授業時間外の学習：ノートや配布資料をもとに授業内容の復習 授業内容 友の会とボランティア組織</p> <p>第13回 授業時間外の学習：ノートや配布資料をもとに授業内容の復習 授業内容 博物館と地域連携</p>

	<p>第14回 授業時間外の学習：ノートや配布資料をもとに授業内容の復習 授業内容 博物館評価：自己点検システム</p> <p>第15回 授業時間外の学習：ノートや配布資料をもとに授業内容の復習 授業内容 まとめ：未来の博物館へ</p> <p>授業時間外の学習：ノートや配布資料をもとに授業内容の復習</p>
テキスト	なし（プリントを配布）
参考書・参考資料等	授業内で適宜紹介する
履修上の注意	博物館・美術館を訪れ、展覧会だけでなく、施設や環境について意識して見ておくこと。特にミュージアムレストラン、ショップ、ライブラリー、さらにスタッフのレファレンスなど、利用者の立場での関心をこころがけること。
成績評価の方法・基準	平常点（30%） 授業態度（10%） レポート（60%）
課題に対するフィードバックの方法	授業中のミニレポート内容に対するコメントを授業で行う

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	2年次	2単位	必修
担当教員			
吉田 浩俊			
科目ナンバリング：2L705S			
添付ファイル			

授業形態	講義
科目区分	資格関連科目
授業のテーマ	博物館資料・文化財保存の意義と実際
授業の達成目標	文化財保存に関する基本的な考え方や基礎的能力の習得をめざす。
授業科目の概要	博物館学芸員として必要な、博物館資料（文化財）の保管や展示のために望ましい環境が必要なことや、基本的な考え方、基礎的能力を学ぶ。
授業計画	<p>第1回 授業内容 博物館資料保存論の概要と意義</p> <p>第2回 授業時間外の学習：特になし 授業内容 文化財保存の意味</p> <p>第3回 授業時間外の学習：前回の復習 授業内容 「保存」と「保管」</p> <p>第4回 授業時間外の学習：特になし 授業内容 文化財の種類と保存</p> <p>第5回 授業時間外の学習：文化財の種類について予習 授業内容 資料劣化要因と保存環境1（光）</p> <p>第6回 授業時間外の学習：赤外線、紫外線についての予習 授業内容 資料劣化要因と保存環境2（温度・湿度）</p> <p>第7回 授業時間外の学習：特になし 授業内容 資料劣化要因と保存環境3（空気汚染、虫、カビとIPM）</p> <p>第8回 授業時間外の学習：特になし 授業内容 資料劣化要因と保存環境4（衝撃と振動）</p> <p>第9回 授業時間外の学習：特になし 授業内容 資料の修理・修復1（絵画・彫刻）</p> <p>第10回 授業時間外の学習：第4回から第7回までの復習 授業内容 資料の修理・修復2（工芸・建築）</p> <p>第11回 授業時間外の学習：特になし 授業内容 収蔵庫と展示室（望ましい基準）</p> <p>第12回 授業時間外の学習：特になし 授業内容 文化財の移動（梱包と運搬）</p> <p>第13回 授業時間外の学習：特になし 授業内容 文化財の移動2（梱包の実際） 授業時間外の学習：特になし</p>

	<p>第14回 授業内容 文化資源の活用と保存（世界遺産等）</p> <p>第15回 授業時間外の学習：予習（世界遺産、世界文化遺産） 授業内容 地域社会と博物館の役割</p> <p>授業時間外の学習：地元の博物館について調べておく</p>
テキスト	なし
参考書・参考資料等	使用しない
履修上の注意	あらかじめ美術館や博物館をできる限り多く見ておくこと。（名古屋市博物館、名古屋市美術館、愛知県美術館、メナード美術館、名古屋城、徳川美術館など）
成績評価の方法・基準	平常点60%、期末試験40%
課題に対するフィードバックの方法	講評会をおこなう。

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	2年次	2単位	必修
担当教員			
高橋 綾子			
科目ナンバリング：2L703S			
添付ファイル			

授業形態	講義
科目区分	資格関連科目
授業のテーマ	博物館資料の基礎と実際
授業の達成目標	博物館・美術館が扱う各種資料の収集、分類整理、保存、管理などに関わる基礎的な知識を得る。今日における博物館資料の意義やその重要性について考えることができるようになること。
授業科目の概要	博物館・美術館が扱う各種資料の収集、分類整理、保存、管理などに関わる基礎的な知識を学ぶ。また、学芸員の調査・研究活動の現状を知り、さらに展示案作成の実践を通じてその意義について考察する。
授業計画	<p>第1回 授業内容 いま博物館は…</p> <p>第2回 授業時間外の学習：ノートや配布資料をもとに授業内容の復習 授業内容 博物館とは／博物館の種類</p> <p>第3回 授業時間外の学習：ノートや配布資料をもとに授業内容の復習 授業内容 資料の種類と分類</p> <p>第4回 授業時間外の学習：ノートや配布資料をもとに授業内容の復習 授業内容 資料の収集（1）コレクションについて（西洋）</p> <p>第5回 授業時間外の学習：ノートや配布資料をもとに授業内容の復習 授業内容 資料の収集（2）コレクションについて（日本）</p> <p>第6回 授業時間外の学習：ノートや配布資料をもとに授業内容の復習 授業内容 資料の収集（3）日本の美術館における収集活動</p> <p>第7回 授業時間外の学習：ノートや配布資料をもとに授業内容の復習 授業内容 資料の収集（4）オークション</p> <p>第8回 授業時間外の学習：ノートや配布資料をもとに授業内容の復習 授業内容 博物館資料の整理と保管 基本台帳／資料の取扱い</p> <p>第9回 授業時間外の学習：ノートや配布資料をもとに授業内容の復習 授業内容 博物館資料の保存と管理</p> <p>第10回 授業時間外の学習：ノートや配布資料をもとに授業内容の復習 授業内容 博物館資料の公開（1）常設展</p> <p>第11回 授業時間外の学習：ノートや配布資料をもとに授業内容の復習 授業内容 博物館資料の公開（2）特別展</p> <p>第12回 授業時間外の学習：ノートや配布資料をもとに授業内容の復習 授業内容 博物館資料の公開（3）展示案作成演習1</p> <p>第13回 授業時間外の学習：ノートや配布資料をもとに授業内容の復習 授業内容 博物館資料の公開（4）展示案作成演習2 授業時間外の学習：ノートや配布資料をもとに授業内容の復習</p>

	<p>第14回 授業内容 博物館資料の公開（5）展示案作成演習3</p> <p>第15回 授業時間外の学習：ノートや配布資料をもとに授業内容の復習 授業内容 まとめ 博物館資料の今後 授業時間外の学習：ノートや配布資料をもとに授業内容の復習</p>
テキスト	なし（プリントを配布）
参考書・参考資料等	授業内で適宜紹介する。
履修上の注意	博物館・美術館を訪れ、展覧会だけでなく、施設や環境について意識して見ておくこと。展示案作成演習については、より主体的な取り組みをこころがけること。
成績評価の方法・基準	平常点（30%） 授業態度（10%） 演習発表とレポート（60%）
課題に対するフィードバックの方法	演習発表と授業中のミニレポート内容に対するコメントを授業で行う

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	3 年次	2 単位	必修
担当教員			
山口 由香			
科目ナンバリング：3L706S			
添付ファイル			

授業形態	講義
科目区分	資格関連科目
授業のテーマ	「展示」の歴史を理解し、展示に必要な基礎的知識を身につける。
授業の達成目標	(1) 「展示」という行為について、見識を深めることができる (2) 資料保存の観点から、必要な知識を身につけることができる (3) 展示＝情報の伝達という側面への理解を深めることができる
授業科目の概要	(1) 「展示」について具体例を踏まえながらその歴史を学び、影響力を知る (2) 展示に必要な知識（温湿度、照度、その他設備など）を講義により学ぶ (3) 展示に必要な用具や展示が実現するまでの流れについて、講義により学ぶ (4) 知識を活かしながら、鑑賞者にとって最適な展示方法を考える
授業計画	<p>第1回 ガイダンス 授業の進行と学外見学について説明を行う。</p> <p>第2回 学外見学 愛知県内の美術館・博物館に赴き、展覧会を見学する。 ※4月以降発表される美術館・博物館の年度計画によっては、行き先や時期が変更になる可能性あり ※1回の見学で講義2コマ分とする</p> <p>第3回 学外見学 愛知県内の美術館・博物館に赴き、展覧会を見学する。 ※4月以降発表される美術館・博物館の年度計画によっては、行き先や時期が変更になる可能性あり ※1回の見学で講義2コマ分とする</p> <p>第4回 展示の歴史 博物館の定義や機能について学ぶ。 展示の歴史や性格、影響力について学ぶ。</p> <p>第5回 展示の環境 展示と資料保存について、個々の資料に応じた条件（温湿度や照度など）を学ぶ。 展示施設とその設備について学ぶ。</p> <p>第6回 展示の環境 展示と資料保存について、個々の資料に応じた条件（温湿度や照度など）を学ぶ。 展示施設とその設備について学ぶ。</p> <p>第7回 展示の手法 各資料の形態に即した展示方法や、展示用具について学ぶ。</p> <p>第8回 展示の現場 展覧会の形態など、実際の開催状況について学ぶ。 経費や収益にまつについても理解を深める。</p> <p>第9回 展示の現場 借用と輸送に関する知識を学ぶ。 展示室内の造作について、具体例を用いて理解を深める。</p> <p>第10回 展示とリスクマネジメント 保険や法規など、展示に関わるリスクとそのマネジメントについて学ぶ。 事例を知ることで、展覧会のリスク管理について理解を深める。</p> <p>第11回 展示演習と講評 身近な持ち物を使い、簡単な展示を考える。 考えた展示を全員で閲覧し、講評を行う。</p> <p>第12回 展示演習 展示室内グラフィック（キャプション）を制作する。 指定された（あるいは自ら選んだ）作品について、図書室で調査を行う。</p> <p>第13回 展示演習と講評 展示室内グラフィックを制作し、講評を行う。</p> <p>第14回 展示演習と講評 持ち寄ったモノ（事前に指定します）を使い、簡単な展示を考える。</p> <p>第15回 展示演習と講評 持ち寄ったモノ（事前に指定します）を使い、簡単な展示を考える。 展示の発表後、講評を行う。</p>
テキスト	特になし

参考書・参考資料等	『新時代の博物館学』全国大学博物館学講座協議会西日本部会(編)、芙蓉書房出版、2012 『博物館展示論』、黒沢浩(編著)、講談社、2014
履修上の注意	(1) 欠席する場合、原則として前日までに連絡すること ※交通状況などやむを得ない場合は相談してください。 (2) 遅刻する場合、授業開始前に連絡すること
成績評価の方法・基準	(1) 出席＋コメント＋試験対策テスト(複数回)で50% (2) 展示演習(複数回)＋最終試験で50% (3) 上記の合計を100点満点に換算して評価する
課題に対するフィードバックの方法	展示演習については、その場でコメントを行うと同時に他の履修者による講評を行う。